

令和3年度 旭区個性ある区づくり推進費【自主企画事業費】一覧

(単位：千円)

事業計画書番号	事業名	3年度		2年度		増△減(3-2)	
		総額	一財+市債	総額	一財+市債	総額	一財+市債
1	チーム旭で進める満足度向上事業	700	700	700	700	0	0
2	区民に身近で信頼される区役所事業	9,960	9,960	8,421	8,421	1,539	1,539
3	旭区広報事業	3,035	2,819	2,006	1,790	1,029	1,029
4	区政運営推進費	3,200	3,200	3,200	3,200	0	0
5	あさひ魅力発見事業	3,216	3,216	3,416	3,416	△ 200	△ 200
6	希望ヶ丘駅周辺のまちづくりに関する検討	3,100	3,100	3,000	3,000	100	100
7	SDGs未来都市の実現に向けた大規模団地再生事業	2,000	2,000	4,000	4,000	△ 2,000	△ 2,000
8	商店街振興事業	300	300	300	300	0	0
9	旭区の「農」の魅力PR事業	722	602	722	602	0	0
10	水・緑・花を暮らしに取り入れた旭区魅力アップ事業	5,777	5,777	4,742	4,742	1,035	1,035
11	自治会町内会活動支援事業	3,811	3,811	3,811	3,811	0	0
12	旭ふれあい区民まつり	3,300	3,300	3,300	3,300	0	0
13	「あさひくん」でつながる旭区の元気推進事業	960	960	1,080	1,080	△ 120	△ 120
14	街の美化運動事業	540	540	704	704	△ 164	△ 164
15	災害に強い区づくり事業	11,369	11,369	10,208	10,208	1,161	1,161
16	地域安全安心普及推進事業	4,281	3,831	3,869	3,869	412	△ 38
17	交通安全対策事業	5,569	5,569	5,596	5,596	△ 27	△ 27
18	区民スポーツ事業	3,371	3,371	4,673	4,673	△ 1,302	△ 1,302
19	文化芸術による心の豊かさ推進事業	5,792	5,792	5,792	5,792	0	0
20	「みなくる」自主事業活動費	1,363	1,363	990	990	373	373
21	読書活動推進事業	300	300	300	300	0	0
22	青少年健全育成事業	564	564	593	593	△ 29	△ 29
23	一時託児サービス事業	974	974	917	917	57	57
24	子育て支援情報提供事業	4,309	4,309	4,210	4,210	99	99
25	子育て・若者支援事業	3,520	3,520	3,487	3,487	33	33
26	保育所地域子育て支援事業	5,839	5,802	6,126	6,089	△ 287	△ 287

令和3年度 旭区個性ある区づくり推進費【自主企画事業費】一覧

(単位：千円)

事業計画書 番号	事業名	3年度		2年度		増△減(3-2)	
		総額	一財+市債	総額	一財+市債	総額	一財+市債
27	地域福祉保健計画事業	3,216	3,216	4,137	4,137	△ 921	△ 921
28	地域のつながりづくりに向けた民生委員の活動支援事業	3,203	3,203	2,780	2,780	423	423
29	健康生活支援事業	2,783	2,783	3,707	3,707	△ 924	△ 924
30	認知症をみんなでささえるまちづくり事業	1,308	1,308	1,197	1,197	111	111
31	高齢者生きがいづくり支援事業	865	865	245	245	620	620
32	障害者ネットワーク推進事業	2,326	2,326	2,026	2,026	300	300
33	DV対策事業	927	927	852	852	75	75
34	安全で安心な食と生活環境支援事業	1,371	1,371	655	655	716	716

(様式3-1) 令和3年度 事業計画書【自主企画事業費】

[旭 区 総務 課]

No.	1
-----	---

予算区分	区役所総務費 区役所総務費	性質・ 課題区分	窓口サービス向上 区庁舎・区民利用施設環境改善	事業開始年度	平成18年度
------	------------------	-------------	----------------------------	--------	--------

事業名	特記事項	中期計画-38の政策 政策番号 主な施策番号	事業評価 書番号 該当なし
チーム旭で進める満足度向上事業	中期計画-38の政策 中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業		事業評価 書番号

(単位：千円)

区分	金額	財 源 内 訳			
		国・県	諸収入		一般財源
本年度	700	0	0		700
前年度	700	0	0		700
増△減	0	0	0	0	0

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予算	事業費	650	600	700	予算	事業費	700	700
	メリット+一般財源	650	600	700		一般財源	700	700
決算	事業費	580	595	653	方針に関する決裁 種別()			
決算	メリット+一般財源	580	595	653	有:件名()、日付(年月)			

事業の概要 (目的)	正確・迅速・丁寧で親しみやすいサービスの提供に向け、職員研修を実施するとともに、現場意見を生かした職場環境・事務改善の取組を実施し、お客様満足度および職員満足度の向上を図ります。
---------------	---

(説明)

1 地域の課題等	区が抱える課題や区役所のサービスに対するニーズの多様化等をうけ、対応スキルアップ研修や人権研修を実施します。また現場意見を生かした職場環境・事務改善の取組を実施することにより、職員が生き生きと活躍できる組織づくりを図ります。
地域課題等の収集手段	
2 運営方針等との関係	令和2年度旭区運営方針 III目標達成に向けた組織運営 共感と信頼 チームあさひ
3 根拠法令・要綱等	横浜市人権啓発研修推進要綱、旭区人権啓発研修実施要領、旭区改革推進委員会設置要綱

【実績の推移・今後見込み】

1 市民局実施 窓口サービス満足度調査結果 (窓口サービスの全体的な印象「満足」「やや満足」の回答)

30年度	元年度	2年度	3年度
99%	98%	中止	99%

2 人権啓発講演会参加者数

30年度	元年度	2年度	3年度
250	300	中止	300

3 改革推進委員会参加委員数

30年度	元年度	2年度	3年度
30	27	10	30

■ 見込み

【実施内容】

- CS向上事業
 - 人権啓発研修
区民、職員を対象とした人権啓発講演会の開催及び職員研修の実施
 - 対応スキルアップ研修
窓口サービスの満足度調査の結果を基に、対応マナーの向上等を目的とした研修の実施
- ES向上事業
庁内公募による横断的な組織、改革推進委員会の活動を通じて、職場環境や事務改善の取組を実施

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
1 CS向上事業	500	500	0	
2 ES向上事業	200	200	0	
事業費合計	700	700	0	

【根拠とするデータ等】

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	庶務 係
	本城 泰之	黒田 智子	磯部 友美

(様式3-1) 令和3年度 事業計画書【自主企画事業費】

[旭 区 総務 課]

No.	2
-----	---

予算区分	区役所総務費 区役所総務費	性質・ 課題区分	区庁舎・区民利用施設環境改善 窓口サービス向上	事業開始年度	平成17年度
------	------------------	-------------	----------------------------	--------	--------

事業名	区民に身近で信頼される区役所事業
-----	------------------

特記事項	中期計画-38の政策 中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 温暖化対策関連事業
------	--

中期計画-38の政策	政策番号	主な施策番号

事業評価 書番号	該当なし
事業評価 書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	9,960	0	0			9,960
前年度	8,421	0	0			8,421
増△減	1,539	0	0	0	0	1,539

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出	令和4年度	令和5年度
事業費	9,396	9,396	7,972	事業費	9,960	9,960
メリット+一般財源	9,396	9,396	7,972	一般財源	9,960	9,960
決算						
事業費	9,172	7,941	8,320			
メリット+一般財源	9,172	7,941	8,320			

方針に関する決裁 種別()
有:件名 ()、日付 (年 月)
無

事業の概要 (目的)	庁舎に関するお客様の要望や旭区改革推進委員会からの提言を受け止め、庁舎環境の改善やお客様サービスの向上を図る事業を実施します。
---------------	---

(説明)																					
1 地域の課題等	<p>区民にとって最も身近な行政機関である区役所は、刻々と変化し多様化するお客様のニーズを的確にとらえ、迅速に対応することが求められます。しかしながら、旭区総合庁舎は竣工から50年が経過しており、施設の老朽化が著しく、『お客様の声提案箱』には区の対応に肯定的な意見がある一方、施設等の改善要望が多く寄せられています。そこで、お客様からの要望や旭区改革推進委員会からの提言を実現し、お客様が快適に利用できる区庁舎環境の充実を図る必要があります。</p>																				
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等																				
2 運営方針等との関係	令和2年度旭区運営方針 III目標達成に向けた組織運営 共感と信頼																				
3 根拠法令・要綱等	消防法、建築基準法、駐車場法、建築物の衛生的環境の確保に関する法律、高齢者・障害者等が円滑に利用できる特定建築物の建築促進に関する法律、横浜市駐車場条例																				
【実績の推移・今後見込み】																					
<p>施設の老朽化に伴う修繕経費の増大及び区庁舎に求められる設備水準の変化により、執行額は増大する傾向にあります。少子高齢化、グローバル化の進行、アフターコロナを見据えた地域活動や行政運営に向けたICT活用の事業費用の増加が見込まれます。</p>																					
【実施内容】																					
<p>お客様から頂いた庁舎に関する要望や旭区改革推進委員会からの提言等の中から、早急に取り組むべき課題に関して迅速に対応し、お客様サービスの向上を図ります。 WEB会議用環境や機材の運用に取り組みます。</p>																					
【事業費の内訳】																					
<table border="1"> <tr> <th>細目事業名</th> <th>本年度</th> <th>前年度</th> <th>差引</th> <th>説明</th> </tr> <tr> <td>区民ニーズ迅速対応事業</td> <td>8,960</td> <td>8,421</td> <td>539</td> <td>アルコール等消耗品購入の増</td> </tr> <tr> <td>ICT環境整備事業</td> <td>1,000</td> <td>0</td> <td>1,000</td> <td>新規事業</td> </tr> <tr> <td>事業費合計</td> <td>9,960</td> <td>8,421</td> <td>1,539</td> <td></td> </tr> </table>	細目事業名	本年度	前年度	差引	説明	区民ニーズ迅速対応事業	8,960	8,421	539	アルコール等消耗品購入の増	ICT環境整備事業	1,000	0	1,000	新規事業	事業費合計	9,960	8,421	1,539		
細目事業名	本年度	前年度	差引	説明																	
区民ニーズ迅速対応事業	8,960	8,421	539	アルコール等消耗品購入の増																	
ICT環境整備事業	1,000	0	1,000	新規事業																	
事業費合計	9,960	8,421	1,539																		
【根拠とするデータ等】																					

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	予算調整係・庶務 係
	本城 泰之	藤井 晶子 黒田 智子	植田 将裕 山田 陽彦

(様式3-1) 令和3年度事業計画書【自主企画事業費】

[旭 区 区政推進 課]

No.	3
-----	---

予算区分	広聴広報相談費	性質・課題区分	広報・広聴	事業開始年度	平成10年度
------	---------	---------	-------	--------	--------

事業名	旭区広報事業
-----	--------

特記事項	中期計画-38の政策 中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 温暖化対策関連事業
------	--

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	3,035	0	216			2,819
前年度	2,006	0	216			1,790
増△減	1,029	0	0	0	0	1,029

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予算	事業費	2,159	1,849	2,112	予算	事業費	3,035	3,035
	メリット+一般財源	2,059	1,849	2,112		一般財源	2,819	2,819
決算	事業費	1,669	1,473	1,606	方針に関する決裁 種別() 有:件名()、日付(年月) 無			
	メリット+一般財源	1,569	1,473	1,436				

事業の概要(目的)	区民に向けて区・市等の各種事業を広報することで、区政に対する理解、協力を広げ、その円滑な推進を図ります。
-----------	--

(説明)

1 地域の課題等	<ul style="list-style-type: none"> 多様な行政情報を正確かつ速やかにお知らせする手段として、ホームページ・SNSを充実させる必要があります。 年間1万人以上の転入者の旭区での生活の円滑なスタートのため、旭区便利帖さんさんガイド、区民生活・防災マップを配布しています。
----------	--

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	5 区民アンケート		
-------------	------------	-----------	--	--

2 運営方針等との関係	令和2年度旭区運営方針 II 目標達成に向けた施策 魅力発信、水・緑・花・スポーツ・文化によるつながりづくりを推進
-------------	--

3 根拠法令・要綱等	横浜市インターネット情報受信ガイドライン、旭区WEBページ管理・運営要綱
------------	--------------------------------------

【実績の推移・今後見込み】

	30年度実績	元年度実績	2年度見込み	3年度予定
ホームページアクセス件数	約144万件	約201万件	約201万件	約201万件

【実施内容】

- Web広報事業:市・区の行政情報を提供していきます。また、「新しい生活様式」により変化する区民生活を支える各事業を映像面から支援するため、撮影機材等の充実を図ります。更に、主に旭区役所職員を対象に広報に係る研修を開催し、区役所全体の広報力の醸成を図ります。
- 旭区便利帖さんさんガイド発行事業:主に転入区民向けに旭区での新生活に活用してもらうため2年度分20,000部作成。区役所、二俣川行政サービスコーナー等で配布。
- 旭区区民生活・防災マップ発行事業:旭区便利帖と交互に隔年発行のため、令和3年度は発行しません。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
1. Web広報事業	1,154	404	750	広報機材導入・管理等の経費増
2. 旭区便利帖さんさんガイド発行事業	1,881	0	1,881	隔年発行による増
3. 旭区区民生活・防災マップ発行事業	0	1,602	△1,602	隔年発行による減
事業費合計	3,035	2,006	1,029	

【根拠とするデータ等】

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	広報相談係
	中村 明子	城内 雅弘	山本 祥子

(様式3-1) 令和3年度 事業計画書【自主企画事業費】

[旭 区 区政推進 課]

No.	4
-----	---

予算区分	広聴広報相談費 街づくり推進費	性質・ 課題区分	広報・広聴 地域まちづくり	事業開始年度	平成10年度
------	--------------------	-------------	------------------	--------	--------

事業名	区政運営推進費
-----	---------

特記事項	中期計画-38の政策 中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業
------	--

中期計画-38の政策	政策番号	主な施策番号

事業評価 書番号	該当なし
事業評価 書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	3,200	0	0			3,200
前年度	3,200	0	0			3,200
増△減	0	0	0	0	0	0

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予算	事業費	1,112	2,982	2,200	子	事業費	3,050	3,050
	メリット+一般財源	1,112	2,982	2,200	算	一般財源	3,050	3,050
決算	事業費	1,201	3,448	3,043	方針に関する決裁 種別()			
	メリット+一般財源	1,201	3,448	3,043	有:件名()、日付(年月)			
(無)								

事業の概要 (目的)	区運営方針及び主要事業等について、区民へ適切な情報提供を行います。また、地域課題の解決に繋がる各施策・事業を円滑に進めるため、関係機関との調整を行います。
---------------	---

(説明)																									
1 地域の課題等	<p>地域との信頼関係を築くためには、区が地域課題を的確に把握し、解決に向けて協働で取り組んでいく関係づくりが求められます。また、並行して、将来像や重点推進施策及びそれらに関連する区の様々な取組を、分かりやすく区民へ情報提供していく必要があります。</p> <p>さらに、把握した地域課題等を、関係機関で積極的に共有し、解決に向けた取組を推進する必要があります。</p>																								
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	4 地区懇談会	5 区民アンケート	6 区民要望																					
2 運営方針等との関係	令和2年度旭区運営方針 II 目標達成に向けた施策「SDGs未来都市・横浜」郊外部モデルの創造																								
3 根拠法令・要綱等	区における総合行政の推進に関する規則																								
【実績の推移・今後見込み】																									
区運営方針の主要事業について、平成10年度以降、様々な機会を利用して周知・広報を行ってきました。引き続き、広報区版やホームページ、地区連合自治会町内会の会議等を活用して、積極的な周知・広報を行っていきます。																									
【実施内容】																									
1 区運営方針の広報等 区が取り組んでいく事業等について、区運営方針・主要事業として取りまとめ、広報あさひ区版やホームページを活用して区民に分かりやすく情報提供します。																									
2 まちづくり調整（総合行政の推進） 学校廃校後の利用計画に関する調整、SDGsの啓発や発信、空家対策の新たな手法の検討・実施など、関係局や連携パートナーとともに地域課題の解決に繋がるまちづくりに取り組んでいきます。																									
【事業費の内訳】																									
<table border="1"> <tr> <th>細目事業名</th> <th>本年度</th> <th>前年度</th> <th>差引</th> <th>説明</th> </tr> <tr> <td>区運営方針の広報等</td> <td>775</td> <td>775</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>まちづくり調整（総合行政の推進）</td> <td>2,425</td> <td>2,425</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業費合計</td> <td>3,200</td> <td>3,200</td> <td>0</td> <td></td> </tr> </table>						細目事業名	本年度	前年度	差引	説明	区運営方針の広報等	775	775	0		まちづくり調整（総合行政の推進）	2,425	2,425	0		事業費合計	3,200	3,200	0	
細目事業名	本年度	前年度	差引	説明																					
区運営方針の広報等	775	775	0																						
まちづくり調整（総合行政の推進）	2,425	2,425	0																						
事業費合計	3,200	3,200	0																						
【根拠とするデータ等】																									

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	企画調整係
	中村 明子	片岡 翔太	長友 麻苗未

（様式3-1） 令和3年度 事業計画書【自主企画事業費】

[旭 区 区政推進 地域振興 課]

No. 5

予算区分	街づくり推進費 街づくり推進費	性質・ 課題区分	地域まちづくり 商店街振興	事業開始年度	平成27年度
------	--------------------	-------------	------------------	--------	--------

事業名
あさひ魅力発見事業

特記事項
中期計画-38の政策
中期計画-行政運営
中期計画-財政運営
重点事業
新規・拡充
温暖化対策関連事業

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号

事業評価 書番号	該当なし
事業評価 書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	3,216	0	0			3,216
前年度	3,416	0	0			3,416
増△減	△ 200	0	0	0	0	△ 200

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予算	事業費	5,114	2,700	2,116	予算	事業費	3,216	3,216
	メリット+一般財源	5,114	2,700	2,116		一般財源	3,216	3,216
決算	事業費	5,171	2,424	1,808	方針に関する決裁 種別() 有:件名 ()、日付 (年 月) (無)			
	メリット+一般財源	5,171	2,424	1,808				

事業の概要 (目的)	旭区誕生50周年で培ってきた旭区の魅力・ライフスタイル等の発信、「あさひの逸品」認定商品のPR、文化・観光スポットの整備等、SDGsの取組支援・啓発を行うことで、旭区の魅力を発見・発信し、愛着度向上及び経済活性化を目指します。
---------------	---

(説明)

1 地域の課題等	平成27年度より旭区の魅力を発見・再認識できる事業を展開してきました。今後も子育て世代を主なターゲットにしながら、旭区の魅力がより幅広い層に認識され愛され続けるよう、事業を継続していく必要があります。また、ウォーキングルートに標柱を整備し、史跡案内等を行っていますが、よりウォーキングを充実させるため標柱の整備(点検・修繕)をする必要があります。加えて、平成27年4月1日に施行された「横浜市商店街の活性化に関する条例」を踏まえ、商店街の活性化に関する取組を推進し、地域経済及び地域コミュニティの発展へ寄与することが求められています。さらに、持続可能な地域づくりのために、複数の地域課題の同時解決を目指してSDGsを広める必要があります。			
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口応対等	3 地区担当制度	5 区民アンケート	7 関係団体からの要望
2 運営方針等との関係	令和2年度旭区運営方針 II 目標達成に向けた施策 ・安心・健やかな暮らしの推進 ・魅力発信、水・緑・花・スポーツ・文化によるつながりづくりを推進			
3 根拠法令・要綱等	旭区あさひの逸品選定要綱、きらっとあさひ地域支援事業に係る補助金交付要綱			

【実績の推移・今後見込み】

1 「あさひの逸品」認定の推移

	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	合計
さんさんブランド	24	0	6	新規0 取消1	0	0	29
あさひくみ&畠山重忠ブランド	23	2	0	新規4 取消2	0	取消1	26

2 旭区魅力・ライフスタイル等発信事業

- ・旭区誕生50周年で再認識した旭区の魅力・ライフスタイルを近隣区や企業等と連携して発信
- ・旭区デジタルアーカイブ、旭区誕生50周年記念誌等の管理・PR

3 地域活動トライアル補助金(令和2年度SDGs取組枠補助金を継承)

- ・令和3年度見込み：12事業(地域課題解決に向け、トライアルで事業を立ち上げようとする地域活動団体に対する助成)(令和2年度見込み：2事業(SDGsの目標を事業目標とし、新規に事業を実施する地域活動団体に対する助成))

4 横浜国際園芸博覧会へ向けた機運醸成

- ・横浜園芸博覧会推進旭区実行委員会を設立し(令和2年度予定)、2027年3月から9月まで実施予定の横浜国際園芸博覧会に向けた機運醸成を実施

5 あさひ文化観光資源発信事業・ウォーキングイベント参加者数(旭区役所・旭ガイドボランティアの会)

	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度(見込)	3年度(見込)
参加者	632人	541人	561人	234人	200人	200人

6 旭区グリーンロードのPR等

- ・グリーンロードの広報(ホームページでの見どころ等の紹介)
- ・ルート上に設置した90か所の案内サインの点検・修繕

【実施内容】

- あさひの逸品事業 令和2年度までに認定した「あさひの逸品」をキャンペーンの実施等により広く発信
- 旭区魅力・ライフスタイル等発信事業 近隣区や企業等と連携し魅力発信を実施
- 地域活動トライアル補助金 地域課題解決に向け、トライアルで事業を立ち上げようとする地域活動団体に対し、一団体につき5万円を上限として補助金を交付(SDGsの目標のうち、どの目標の達成に寄与する事業であるかを申請時に確認)
- 横浜国際園芸博覧会へ向けた機運醸成 旭区内の花・緑の取組の発信等による機運醸成を実施
- あさひ文化観光資源発信事業 標柱の整備(点検・修繕)、ウォーキング冊子作成補助
- 旭区グリーンロードのPR等 グリーンロードの管理(ルート上に設置した90ヶ所の案内サインの適切な管理)

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
1 あさひの逸品事業	1,240	940	300	現行冊子の改定のため
2 旭区魅力・ライフスタイル等発信事業	500	1,000	△ 500	実施内容精査による減
3 地域活動トライアル補助金	600	0	600	新規設立による増
SDGs取組枠補助金	0	300	△ 300	廃止による減
4 横浜国際園芸博覧会へ向けた機運醸成	50	0	50	新規実施による増
5 あさひ文化観光資源発信事業	416	616	△ 200	新設整備終了に伴う減
6 旭区グリーンロード管理	410	560	△ 150	整備箇所減による減
事業費合計	3,216	3,416	△ 200	

【根拠とするデータ等】

旭区あさひの逸品紹介冊子の増刷実績、旭ガイドボランティアの会ガイド記録、令和元年度契約実績、旭区きらっとあさひ地域支援補助金令和元年度実績、旭区自治会加入率

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	企画調整係・地域力推進担当・地域活動係 長坂 かおり 打木 真理 秋月 秀貴
	中村 明子 中村 一己	片岡 翔太 遠藤 令子 野田頭 由佳	

(旭 区 - 5)

(様式3-1) 令和3年度 事業計画書【自主企画事業費】

[旭 区 区政推進 課]

No.	6
-----	---

予算区分	街づくり推進費	性質・課題区分	地域まちづくり	事業開始年度	令和元年度
------	---------	---------	---------	--------	-------

事業名
希望ヶ丘駅周辺のまちづくりに関する検討

特記事項	
中期計画-38の政策	<input type="checkbox"/>
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	<input type="checkbox"/>
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
21	3

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	3,100	0	0			3,100
前年度	3,000	0	0			3,000
増△減	100	0	0	0	0	100

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予算	事業費			2,500	予算	事業費	3,100	3,100
	メリット+一般財源			2,500		一般財源	3,100	3,100
決算	事業費			2,384	方針に関する決裁 種別() 有:件名()、日付(年月) 無			
	メリット+一般財源			2,384				

事業の概要(目的)	相鉄・JR直通線の開業を契機として、希望ヶ丘駅を対象にまちづくりの検討を推進します。
-----------	--

(説明)																
1 地域の課題等	<p>・希望ヶ丘駅は「横浜市都市計画マスタープラン旭区プラン」に生活拠点駅と位置づけ、まちづくりの方針を定めているが、まちづくりに関しての動きは具体的でない状況です。</p> <p>・しかしながら、希望ヶ丘駅を取巻く周辺環境は相鉄・JR直通線の開業や旧上瀬谷通信施設のまちづくりの検討など変化が生じてきています。</p> <p>・過年度は地域の関係者に聞き取り調査を行い、得られたまちの魅力・課題から4つの取組の方向性(案)を設定しました。さらにワークショップ等を通じて、希望ヶ丘駅周辺地域のまちづくりのテーマ(大目標)を設定し、まちづくりの構想案骨子を策定しました。</p>															
地域の課題等の収集手段	4 地区懇談会															
2 運営方針等との関係																
3 根拠法令・要綱等	横浜市都市計画マスタープラン 旭区プラン、地域まちづくり推進条例															
【実績の推移・今後見込み】																
<p>○令和元年度 データ分析やヒアリングを通じた地域課題の整理</p> <p>○令和2年度 地域に対して令和元年度調査結果の地域課題等の共有、まちづくりの構想案骨子の作成</p> <p>○令和3年度以降 地域と協働し、まちづくりの構想案のとりまとめ、関係者への共有、公表準備など</p>																
【実施内容】																
<p>・まちづくりの構想案の取りまとめに向け、地域住民が継続して議論できる組織体制づくり</p> <p>・地域意見を反映したまちづくりの構想案のとりまとめ</p>																
【事業費の内訳】																
	<table border="1"> <tr> <th>細目事業名</th> <th>本年度</th> <th>前年度</th> <th>差引</th> <th>説明</th> </tr> <tr> <td>基礎調査委託(その3)</td> <td>3,100</td> <td>3,000</td> <td>100</td> <td>印刷製本費の増</td> </tr> <tr> <td>事業費合計</td> <td>3,100</td> <td>3,000</td> <td>100</td> <td></td> </tr> </table>	細目事業名	本年度	前年度	差引	説明	基礎調査委託(その3)	3,100	3,000	100	印刷製本費の増	事業費合計	3,100	3,000	100	
細目事業名	本年度	前年度	差引	説明												
基礎調査委託(その3)	3,100	3,000	100	印刷製本費の増												
事業費合計	3,100	3,000	100													
【根拠とするデータ等】																

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	まちづくり調整担当
	中村 明子	齋藤 優太	山崎 智史

予算区分	街づくり推進費	性質・課題区分	地域まちづくり	事業開始年度	令和2年度
------	---------	---------	---------	--------	-------

事業名	SDGs 未来都市の実現に向けた大規模団地再生事業
-----	---------------------------

特記事項	
中期計画-38の政策	<input type="checkbox"/>
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	<input type="checkbox"/>
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
21	2

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財 源 内 訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	2,000	0	0			2,000
前年度	4,000	0	0			4,000
増△減	△ 2,000	0	0	0	0	△ 2,000

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度
予算 事業費			
メリット+一般財源			
決算 事業費			
メリット+一般財源			

歳出	令和4年度	令和5年度
予算 事業費	2,000	0
一般財源	2,000	0
	方針に関する決裁 種別()	
	有:件名()、日付(年月)	
	無	

事業の概要(目的)	旭区の大規模団地再生において地域と行政の協働で進めているまちづくり方針の具体化や学校跡地の活用を検討を更に推進し、地域主体の取組として自立化することを目指します。
-----------	---

(説明)	
1 地域の課題等	昭和40年代に開発された左近山団地やひかりが丘団地、西ひかりが丘団地、50年代に開発された若葉台団地において、人口減少と急速な高齢化の進行に伴う多様な課題が顕在化しています。これらの対応について、平成30年度にまちの将来像と取組の方向性をまとめた「横浜市旭区大規模団地再生ビジョン」を策定し、関係者と共有しながら連携を強化してきました。これまで地域との協働で取組を進めてきましたが区局連携事業は令和元年度で終了しており、地域の主体的な取組として自立化することが必要です。また、学校跡地の後利用の検討については廃校当時から地域の期待や要望も大きく、団地再生の取組の持続化に向けた本格活用の早期実現が必要です。

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	4 地区懇談会	5 区民アンケート	6 区民要望
-------------	------------	---------	-----------	--------

2 運営方針等との関係	令和2年度旭区運営方針 II 目標達成に向けた施策「SDGs 未来都市・横浜」郊外部モデルの創造の主な事業に位置付
-------------	---

3 根拠法令・要綱等	
------------	--

【実績の推移・今後見込み】

若葉台団地では、平成29年に地域が主体となり『横浜若葉台みらいづくりプラン』を策定し推進会議を立ち上げ、左近山団地では、平成29年に検討会議を立ち上げ翌年『左近山まちづくり方針』を策定しました。これらのプランを具体化するため、若葉台団地では神奈川県住宅供給公社や若葉台まちづくりセンターと協定を締結し、左近山団地ではNPO法人と市民協働契約を取り交わしており、令和3年度に自立化を目指します。ひかりが丘団地や西ひかりが丘団地においては、29年度から地域交通や学校跡地活用などの具体的な取組を進めてきました。今後、賃貸住宅事業者である建築局やUR都市機構と協議をしながら地域主体の取組に移行することを目指します。

【実施内容】

- ・まちづくり方針の具体化等：地域主体の団地再生が自立するための仕組みづくり。左近山団地やひかりが丘団地、西ひかりが丘団地において、地域の活性化をテーマに地域が主体的に検討する会議を支援。
- ・学校跡地の活用等：若葉台団地において学校跡地の活用の検討。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
まちづくり方針の具体化等	1,000	2,000	△ 1,000	事業見直しによる減
学校跡地の活用等	1,000	2,000	△ 1,000	事業見直しによる減
事業費合計	2,000	4,000	△ 2,000	

【根拠とするデータ等】

国土交通省 国土技術政策総合研究所による予測ツールを使用した人口推計、町丁別年齢人口別男女別人口（30年9月）

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	大規模団地再生担当
	中村 明子	馬立 歳久	中島 理太郎

予算区分	街づくり推進費	性質・課題区分	商店街振興	事業開始年度	平成28年度
------	---------	---------	-------	--------	--------

事業名	商店街振興事業
-----	---------

特記事項	中期計画-38の政策 中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業
------	--

中期計画-38の政策	政策番号	主な施策番号

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	300	0	0			300
前年度	300	0	0			300
増△減	0	0	0	0	0	0

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予算	事業費	300	300	600	子算	事業費	300	300
	メリット+一般財源	300	300	600	算	一般財源	300	300
決算	事業費	288	300	600	方針に関する決裁 種別()			
	メリット+一般財源	288	300	600	有:件名()、日付(年月)			

無

事業の概要(目的)	旭区の商店街を区民や来街者に広く周知し、商店街振興を推進します。
-----------	----------------------------------

(説明)									
1 地域の課題等	旭区商店会連合会には9の商店街が加盟しています。店主の高齢化に伴い、空き店舗が発生しているほか、少子高齢化や長引く景気低迷、また消費者ニーズが多様化していることなど様々な要因から集客に落ち込みが見られます。区内の商店街の魅力を広く周知することで、今まで商店街の魅力を知らなかった人がそれを知るきっかけを作り、商店街振興を推し進める必要があります。また、旭区商店会連合会に未加入の商店街があることも課題と考えています。								
地域の課題等の収集手段	7 関係団体からの要望								
2 運営方針等との関係	令和2年度旭区運営方針 II 目標達成に向けた施策 魅力発信、水・緑・花・スポーツ・文化によるつながりづくりを推進								
3 根拠法令・要綱等	横浜市商店街の活性化に関する条例、横浜市中小企業振興基本条例								
【実績の推移・今後見込み】 旭区商店会連合会加盟店									
	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度見込
	471	422	421	409	409	363	331	322	322
【実施内容】									
1 広報事業 区内の商店街の場所や魅力を周知するツールとして好評な冊子を平成30年度に内容を更新し、3年度も引き続き配布することで商店街への来街者増加のきっかけ作りを目指します。									
2 その他 ・わくわく商店街開催 年2回、特別養護老人ホームに商店街が出張し、普段買い物ができない入居者に買い物を楽しんでもらいます。									
【事業費の内訳】									
	細目事業名	本年度	前年度	差引	説明				
	広報事業	300	300	0					
	事業費合計	300	300	0					
【根拠とするデータ等】									

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動係
	中村 一己	野田頭 由佳	河野 将

(様式3-1) 令和3年度事業計画書【自主企画事業費】

[旭 区 地域振興 課]

No. 9

予算区分	街づくり推進費	性質・課題区分	水・緑環境保全	事業開始年度	平成24年度
------	---------	---------	---------	--------	--------

事業名	旭区の「農」の魅力PR事業
-----	---------------

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	○

中期計画-38の政策	
政策番号	13
主な施策番号	4

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	722	0	120			602
前年度	722	0	120			602
増△減	0	0	0	0	0	0

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出	令和4年度	令和5年度
事業費	558	750	722	事業費	722	722
メリット+一般財源	498	630	602	一般財源	602	602
決算	557	742	694	方針に関する決裁 種別()		
決算	497	622	574	有:件名()、日付(年月)		
				無		

事業の概要(目的)	区庁舎での地場野菜販売、区民による野菜の収穫体験や農業体験を通じ、区内農業を区民に広く周知し、地産地消を推進します。
-----------	--

(説明)

1 地域の課題等
 地産地消に対する区民の関心は高まっていますが、地場野菜の入手方法や魅力、地産地消の重要性が周知されているとは必ずしもいえない状況に、旭区としては、今後一層、市と連携し区民の区内農業への関心をより高め、地産地消を推し進めていく必要があります。また、地域コミュニティの創出やブランド化等により観光資源としても農業が求められており、検討していく必要があります。

地域の課題等の収集手段	5 区民アンケート
-------------	-----------

2 運営方針等との関係
 令和2年度旭区運営方針 II 目標達成に向けた施策
 魅力発信、水・緑・花・スポーツ・文化 によるつながりづくりを推進

3 根拠法令・要綱等
 横浜市の都市農業における地産地消の推進等に関する条例

【実績の推移・今後見込み】

	27年度 夏	27年度 冬	28年度 夏	28年度 冬	29年度 夏	29年度 冬	30年度 夏	30年度 冬	元年度 夏	元年度 冬	2年度 夏
参加	169人申込	64人	118人	64人	101人	62人	137人	88人	91人	70人申込	
収穫野菜	荒天中止	じゃがいも・ネギ・大根・白根	じゃがいも・ネギ・大根・白菜・春菊	じゃがいも・ネギ・大根・白菜・春菊	じゃがいも・とうもろこし	じゃがいも・ネギ・大根・白菜・春菊	じゃがいも・とうもろこし	じゃがいも・ネギ・大根・白菜	じゃがいも・とうもろこし	荒天中止	新型コロナウイルス感染症の影響を受け中止

【実施内容】

- 地場野菜直売イベント(あさひの朝市)
毎月第4木曜日に区役所にて、旭区で採れた新鮮な野菜を直売する「あさひの朝市」を実施
- 地場野菜の収穫体験イベント(旭ふれあい収穫祭)
区民が手軽に旭区の農業に触れ、農業を身近に感じる機会を提供するため、都岡恵みの里の畑で年2回実施
- 農業体験事業
より本格的に農業を行ってみたいと考える区民が、指導を受けながら農地を使用できる機会を創出します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
1 地場野菜直売イベント	72	72	0	
2 地場野菜の収穫体験イベント	82	82	0	
3 農業体験事業	568	568	0	
事業費合計	722	722	0	

【根拠とするデータ等】

参加者の受付数に基づく

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	生涯学習支援係
	中村 一己	富岡 幸世	米山 水樹

(様式3-1) 令和3年度事業計画書【自主企画事業費】

[旭区 区政推進 地域振興 課]

No. 10

予算区分	街づくり推進費 地域コミュニティ費	性質・ 課題区分	水・緑環境保全 環境美化	事業開始年度	平成6年度
------	----------------------	-------------	-----------------	--------	-------

事業名
水・緑・花を暮らしに取り入れた 旭区魅力アップ事業

特記事項	
中期計画-38の政策	<input type="checkbox"/>
中期計画-行政運営	<input type="checkbox"/>
中期計画-財政運営	<input type="checkbox"/>
重点事業	<input type="checkbox"/>
新規・拡充	<input type="checkbox"/>
温暖化対策関連事業	<input type="checkbox"/>

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
11	6
12	1

事業評価 書番号	該当なし
事業評価 書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	5,777	0	0			5,777
前年度	4,742	0	0			4,742
増△減	1,035	0	0	0	0	1,035

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予算	事業費	2,223	1,472	4,123	子	事業費	5,777	5,777
算	メリット+一般財源	2,223	1,472	4,123	算	一般財源	5,777	5,777
決算	事業費	2,317	1,189	3,799	方針に関する決裁 種別()			
算	メリット+一般財源	2,317	1,189	3,799	有:件名()、日付(年月)			
(無)								

事業の概要 (目的)	水と緑に恵まれた旭区の特性を生かした取組や温暖化対策に貢献する暮らしを推進して、「ふるさと旭」の魅力を高めます。また、花いっぱい事業を通して魅力あるきれいな街づくりを推進します。
---------------	---

(説明)				
1 地域の課題等	旭区は、緑の7天拠点のうち3つの拠点が所在し、区を中心を帷子川が流れているなど豊かな自然環境を有しています。平成30年度の区民意識調査では、住みやすい点として、約45%の回答者が「緑(公園)が多い」を挙げ、生活環境では、約61%の回答者が「公園・水辺の遊び場・緑地の整備」に「満足・やや満足」を選択しており、多くの方が水・緑に親しんでいます。今後より多くの方が自然に親しむことができる機会を作ることにより、区への愛着を醸成する必要があります。 本市では横浜市地球温暖化対策実行計画に基づき温室効果ガス排出量削減に取り組み、排出を抑制する「緩和策」と、環境変化に対処する「適応策」に取り組む必要があります。また、部門別二酸化炭素排出量では、全国と比較すると本市は家庭部門の占める割合が大きく(全国14.6% 本市22.6%(ともに平成27年時点))、区民一人ひとりが温室効果ガス削減に取り組む必要があります。			
地域の課題等の収集手段	5 区民アンケート	6 区民要望	7 関係団体からの要望	8 その他
2 運営方針等との関係	令和2年度旭区運営方針 II 目標達成に向けた施策 魅力発信、水・緑・花・スポーツ・文化によるつながりづくりを推進			
3 根拠法令・要綱等	地球温暖化対策の推進に関する法律、横浜市地球温暖化対策実行計画			

【実績の推移・今後見込み】

- ホタルの舞う里づくり
若葉台、川井(平成30年度まで)、鶴ヶ峰/白根(令和元年度まで)で、平成18年度から実施
旭北地区で令和2年度から実施
- ふるさとの川環境学習

	29年度	30年度	元年度	2年度(見込)	3年度(予定)
実施校数	6	5	5	5	5
対象人数	約430人	約380人	約300人	約350人	-

- 温暖化対策推進

「楽しくお家でエコ! 実践講座」

	30年度	元年度	2年度(見込)	3年度(予定)
人数	211人	248人	-	-
回数	12回	11回	4回	6回

※令和2年度より動画配信による実施に変更

- 緑のカーテンづくり推進

1 緑のカーテン栽培講座

	30年度	元年度	2年度	3年度(予定)
人数	82人	77人	86人	-
回数	1回	1回	1回	1回

※令和3年度より動画配信による実施に変更

2 緑のカーテン実施園数

	30年度	元年度	2年度	3年度(予定)
園数	28園	28園	32園	29園

- 花いっぱい事業

【自治会町内会花苗配布数】

	29年度		30年度		元年度		2年度	
	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋(予定)
配布日	6月11日	12月3日	6月10日	12月3日	6月9日	12月8日	9月13日予定	12月予定
配布物	マリーゴールド	パンジー	マリーゴールド	パンジー	マリーゴールド	パンジー	ペゴニア	パンジー
団体数	120団体	124団体	131団体	131団体	135団体	120団体	118団体	140団体
ポット数	11,064ポット	11,304ポット	11,856ポット	11,616ポット	11,976ポット	10,896ポット	11,256ポット	13,000ポット

【実施内容】

■ホタルの舞う里づくり

専門家の指導の下、ホタルの幼虫の飼育や放流、生息地の保全を行います。区の昆虫でもあるホタルの生態や飼育について勉強会を開催し、身近な環境への理解を深めます。

■ふるさとの川環境学習

区内小学校（5年生を中心）を対象に、帷子川と環境をテーマにした学習会を地域のNPOや企業と協働で開催します。また、区役所に設置した水槽で帷子川に生息する生き物を飼育・説明し、帷子川への親しみを深めます。

■温暖化対策推進

多くの区民に温暖化対策に寄与する暮らしに関心を持ってもらうため、「楽しくお家でエコ！実践講座」の動画配信をYoutube等を用いて実施します。

■緑のカーテンづくり推進

「緑のカーテン栽培講座」の動画配信や区内の民間保育園や幼稚園等における緑のカーテンの資材提供を継続します。

■花いっぱい事業

自治会町内会・公共施設等植栽に意欲のある団体に年2回花苗を配布し、区役所・区内空地や公園等の緑化を進めポイ捨て等の抑止となるような魅力あるきれいな街づくりを推進します。花のボランティア養成では、区庁舎周辺の花壇の手入れをしている花のボランティアを対象に講習会（感謝会）を開催します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
ホタルの舞う里づくり	280	300	△ 20	
ふるさとの川環境学習	320	300	20	
温暖化対策推進	705	201	504	講座動画の撮影を委託することによる増
緑のカーテンづくり推進	632	636	△ 4	
花いっぱい事業	3,840	3,305	535	花壇維持管理、花苗単価上昇による増
事業費合計	5,777	4,742	1,035	

【根拠とするデータ等】

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	企画調整係・資源化推進担当 長坂 かおり 長谷川 哲史 米山 水樹
	中村 明子 中村 一己	片岡 翔太 三浦 正	

予算区分	地域コミュニティ費	性質・課題区分	地域コミュニティ	事業開始年度	平成18年度
------	-----------	---------	----------	--------	--------

事業名	自治会町内会活動支援事業
-----	--------------

特記事項	中期計画-38の政策 中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業
------	--

中期計画-38の政策	政策番号	主な施策番号

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	3,811	0	0			3,811
前年度	3,811	0	0			3,811
増△減	0	0	0	0	0	0

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予算	事業費	3,077	3,241	3,811	予算	事業費	3,811	3,811
	メリット+一般財源	3,077	3,241	3,811		一般財源	3,811	3,811
決算	事業費	3,219	3,027	2,859	方針に関する決裁 種別()			
決算	メリット+一般財源	3,219	3,027	2,859	有:件名()、日付(年月)			
(無)								

事業の概要(目的)	行政と地域住民を結ぶ基礎的な自主的任意組織である自治会町内会と行政の円滑な連携の構築を図り、自治会町内会活動を区民に対しPRすることにより、活動の活性化や自治会町内会への加入促進を図ります。
-----------	---

(説明)

1 地域の課題等	約240ある自治会町内会のうち、毎年半数近い自治会町内会が役員の交代を行っており、十分な引継ぎがないことによる事業の遅れなどの課題があります。また、旭区では高齢化が進んでおり、役員のなり手が不足している自治会町内会も見受けられ、加入促進を含めた支援をする必要があります。
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等 2 陳情 3 地区担当制度 4 地区懇談会
2 運営方針等との関係	令和2年度旭区運営方針 III目標達成に向けた組織運営 つながりによるチャレンジ
3 根拠法令・要綱等	旭区地域活動のつどい功労者表彰実施要綱、横浜市自治会町内会長永年在職者表彰要綱、旭区自治会町内会長永年在職者表彰要綱

【実績の推移・今後見込み】

項目・年度	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度見込み	3年度見込み
地区連数・自治会町内会数・加入世帯数	19・239・82,622	19・238・82,795	19・237・82,671	19・237・82,493	19・237・82,493	19・237・82,393	19・237・82,393
地域活動のつどい表彰数	31人	62人	39人	28人	26人	30人	30人
永年在職者表彰数	25人	15人	21人	25人	26人	25人	25人
自治だより配送経費支出回数	10回	12回	12回	12回	12回	12回	12回

- 【実施内容】
- 地域活動のつどい…自治会町内会の役員（会長除く）を永年務められた方々への功労者表彰式を実施します（令和3年12月）。
 - 感謝会…自治会町内会長の職を永年務められた方々への功労者表彰式を実施します（令和4年3月）。
 - 自治会への依頼物品配送費…旭区連合自治会町内会連絡協議会定例会で承認を受けた配布物を、「自治だより」として各自治会町内会に配送します。
 - 加入促進のPR…転入者への配布物等を作成し、自治会町内会活動のPR等を行い、自治会町内会への加入促進を図ります。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
1 地域活動のつどい	180	180	0	
2 自治会町内会長感謝会	1,126	1,126	0	
3 自治会への依頼物品配送費	2,105	2,105	0	
4 加入促進のPR	400	400	0	
事業費合計	3,811	3,811	0	

【根拠とするデータ等】
各自治会町内会が提出する「自治会町内会現況届」「旭区地域活動のつどい功労者表彰推薦書」に基づく。

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動係
	中村 一己	野田頭 由佳	佐藤 和徳

[旭 区 地域振興 課]

予算区分	地域コミュニティ費	性質・課題区分	地域コミュニティ	事業開始年度	平成6年度
------	-----------	---------	----------	--------	-------

事業名	旭ふれあい区民まつり
-----	------------

特記事項	中期計画-38の政策 中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業
------	--

中期計画-38の政策	政策番号	主な施策番号

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	3,300	0	0			3,300
前年度	3,300	0	0			3,300
増△減	0	0	0	0	0	0

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予算	事業費	3,000	3,300	3,800	子算	事業費	3,300	3,300
	メリット+一般財源	3,000	3,300	3,800	算	一般財源	3,300	3,300
決算	事業費	3,000	3,300	3,800	方針に関する決裁 種別()			
	メリット+一般財源	3,000	3,300	3,800	有:件名()、日付(年月)			
(無)								

事業の概要(目的)	旭ふれあい区民まつりを開催し、行政や区民団体の活動PRの場を設け、区民とのふれあいと旭区の魅力の再発見と、ふるさと意識の高揚を図り、地域の連帯感を強め、行政と区民が協働する魅力的な街づくりを目指します。
-----------	---

(説明)

1 地域の課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 少子・高齢化、核家族化の進行を背景に、地域の担い手が不足するなど、地域への愛着心を高め、コミュニティの活性化を図る必要が生じています。 ・ 多くの区民が旭区に暮らし続けたいと思うようなふるさと意識を高める必要があります。
----------	---

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	6 区民要望	7 関係団体からの要望
-------------	------------	--------	-------------

2 運営方針等との関係	令和2年度旭区運営方針 II 目標達成に向けた施策 魅力発信、水・緑・花・スポーツ・文化によるつながりづくりを推進
-------------	--

3 根拠法令・要綱等	旭ふれあい区民まつり補助金交付要綱
------------	-------------------

【実績の推移・今後見込み】

年度区分	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度見込み
来場者数	55,000人	55,000人	25,000人	55,000人	55,000人	中止	55,000人

【実施内容】

区民により組織された実行委員会に補助金を交付します。
 (1) 主催 旭ふれあい区民まつり実行委員会
 (2) 開催予定日 令和3年10月中旬
 (3) 開催予定場所 旭区役所及びその周辺(駐車場、公園、緑道等)
 (4) 主な内容 ア 区民団体のPR出展 イ 模擬店 ウ ステージイベント エ フリーマーケット

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
旭ふれあい区民まつり	3,300	3,300	0	
事業費合計	3,300	3,300	0	

【根拠とするデータ等】

旭ふれあい区民まつり実行委員会が提出する事業完了報告書・事業決算書に基づく。

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動係
	中村 一己	野田頭 由佳	河野 将

[旭 区 地域振興 課]

予算区分	地域コミュニティ費	性質・課題区分	地域コミュニティ	事業開始年度	平成24年度
------	-----------	---------	----------	--------	--------

事業名	「あさひくん」でつながる旭区の 元気推進事業
-----	---------------------------

特記事項	中期計画-38の政策 中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業
------	--

中期計画-38の政策	政策番号	主な施策番号

事業評価書 番号	該当なし
事業評価書 番号	

(単位：千円)

区分	金額	財 源 内 訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	960	0	0			960
前年度	1,080	0	0			1,080
増△減	△ 120	0	0	0	0	△ 120

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予算	事業費	922	822	1,172	予算	事業費	960	960
	メリット+一般財源	922	822	1,172		一般財源	960	960
決算	事業費	922	819	1,134	方針に関する決裁 種別()			
決算	メリット+一般財源	922	819	1,134	有:件名()、日付(年月)			

事業の概要 (目的)	旭区制40周年を記念して誕生した、旭区マスコットキャラクター「あさひくん」を通じて旭区と区民のつながりを深め、旭区の魅力の再発見につなげます。
---------------	---

(説 明)	
1 地域の課題等	旭区では、超高齢化社会の到来とともに、子育て世代が減少し少子化が進んでいます。自然豊かで、安心と温もりあるコミュニティに生まれている旭区の魅力を積極的に発信することにより、子育て世代をはじめ多くの方々に選ばれ続ける「ふるさと旭」の実現を目指すことが必要です。また、区民に旭区の魅力を再発見していただくきっかけづくりを、継続実施していくことも必要です。今後は感染症対策を踏まえた啓発方法を検討し、旭区のマスコットキャラクター「あさひくん」を区内外に広め、旭区への関心やふるさと旭への愛着をより一層高めることが求められています。
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等
2 運営方針等との関係	令和2年度旭区運営方針 II目標達成に向けた施策 魅力発信、水・緑・花・スポーツ・文化によるつながりづくりを推進
3 根拠法令・要綱等	「旭区マスコットキャラクター あさひくん」図形使用取扱要綱 「旭区マスコットキャラクター あさひくん」着ぐるみ貸出要綱

【実績の推移・今後見込み】

	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度見込
使用届出数	112件	107件	116件	125件	123件	135件	120件
画像データ貸出	60	62	63	60	68	86	60
着ぐるみ貸出	52	45	53	43	55	49	60

【実施内容】

旭区マスコットキャラクター「あさひくん」を通じて区民が旭区に愛着を持ち、旭区と区民のつながりを深めるとともに旭区の施策・事業の浸透や地域の活性化を図るため、着ぐるみのイベント参加や画像データの貸出及び4コマ漫画などを取入れた普及・啓発等を実施します。

- 着ぐるみや画像データの貸出事業：着ぐるみの維持・管理
貸出調整や感染対策を講じ、着ぐるみ等の貸し出しを行います。
- 普及啓発事業
 - 普及啓発事業
「あさひくん」を区内外に広めるための啓発を行います。
 - あさひくんPR事業
広報よこはま旭区版への「あさひくん4コマ漫画」掲載やホームページ等での情報発信を行います。

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
貸出事業	220	200	20	コロナ対策による増
普及啓発事業	740	880	△ 140	啓発物品作成の減
事業費合計	960	1,080	△ 120	

【根拠とするデータ等】

「旭区マスコットキャラクター あさひくん」図形使用取扱要綱、着ぐるみ貸出要綱による申請数に基づく

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	生涯学習支援 係
	中村 一己	富岡 幸世	池田 拓実

（様式3-1） 令和3年度 事業計画書【自主企画事業費】

[旭 区 地域振興 課]

No. 14

予算区分	地域コミュニティ費	性質・課題区分	環境美化	事業開始年度	平成6年度
------	-----------	---------	------	--------	-------

事業名	街の美化運動事業
-----	----------

特記事項	○
中期計画-38の政策	
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
11	6

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財 源 内 訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	540	0	0			540
前年度	704	0	0			704
増△減	△ 164	0	0	0	0	△ 164

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予算	事業費	2,969	3,468	699	予算	事業費	540	540
	メリット+一般財源	2,969	3,468	699		一般財源	540	540
決算	事業費	2,956	3,173	526	方針に関する決裁 種別()			
	メリット+一般財源	2,956	3,173	526	有:件名()、日付(年月)			
				(無)				

事業の概要(目的)	区民・事業者・行政が協働して、地域清掃活動や不法投棄防止対策を実施し、また、地域緑化を進めることによって清潔できれいな街づくりを推進します。
-----------	--

(説明)

1 地域の課題等	二俣川駅周辺は、運転試験場・がんセンターなど区外からの利用者も多く、平成30年10月1日に駅周辺が喫煙禁止エリアに策定されたことについて、引き続き工夫をした周知が必要です。 また、不法投棄に関する問合せが依然多くあるため、より一層地域と連携した美化活動を行い、捨てづらい環境整備に向けてきれいな街づくりを推進していきます。
----------	--

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	5 区民アンケート	6 区民要望
-------------	------------	-----------	--------

2 運営方針等との関係	令和2年度旭区運営方針 II目標達成に向けた施策 安心・健やかな暮らしの推進
-------------	--

3 根拠法令・要綱等	・横浜市空き缶等及び吸い殻等の散乱防止に関する条例・同施行規則 ・廃棄物の処理及び清掃に関する法律
------------	--

【実績の推移・今後見込み】

	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度見込み	3年度見込み
地域と協同した清掃回数	22	22	21	22	16	22	22

【実施内容】

- 街の美化清掃
 - ・区内の美化推進重点地区（鶴ヶ峰・二俣川）を毎月1回ずつ地元町内会・商店街と区役所職員協働で清掃します。
- 不法投棄防止対策
 - ・夜間の不法投棄防止のため、委託者によるパトロールを実施します。
 - ・警報装置により夜間の不法投棄者に対して警告の発令を行うため、装置を維持管理します。
- 土壌混合法普及啓発事業
 - ・区役所・区内公共施設・イベント等で土壌混合法講習会を開催するほか、要望に応じ出張講習会も開催します。
- 喫煙禁止地区事業
 - ・二俣川駅周辺の喫煙禁止地区について引き続き周知啓発活動を行います。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
1 街の美化清掃	158	258	△ 100	看板張替完了による減
2 不法投棄防止対策	328	328	0	
3 土壌混合法普及啓発事業	54	54	0	
4 喫煙禁止地区事業	0	64	△ 64	啓発方法の変更による減
事業費合計	540	704	△ 164	

【根拠とするデータ等】

令和元年度契約単価、令和2年度契約単価

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動係
	中村 一己	三浦 正	五十嵐 賢

(様式3-1) 令和3年度 事業計画書【自主企画事業費】

[旭 区 総務 福祉保健 高齢・障害支援 課]

No. 15

予算区分	防犯・防災・安全対策費	性質・課題区分	防災	事業開始年度	平成7年度
------	-------------	---------	----	--------	-------

事業名
災害に強い区づくり事業

特記事項	
中期計画-38の政策	<input type="checkbox"/>
中期計画-行政運営	<input type="checkbox"/>
中期計画-財政運営	<input type="checkbox"/>
重点事業	<input type="checkbox"/>
新規・拡充	<input type="checkbox"/>
温暖化対策関連事業	<input type="checkbox"/>

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
35	3
35	5
35	6

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	11,369	0	0			11,369
前年度	10,208	0	0			10,208
増△減	1,161	0	0	0	0	1,161

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予算	事業費	5,550	5,981	10,131	予算	事業費	11,119	11,119
	メリット+一般財源	5,550	5,981	10,131		一般財源	11,119	11,119
決算	事業費	5,671	5,402	10,407	方針に関する決裁 種別() 有:件名()、日付(年月) 無			
	メリット+一般財源	5,671	5,402	10,407				

事業の概要(目的)	地域防災団体及び区役所の災害対応力の向上を目的とし、各種防災施策を実施します。
-----------	---

(説明)	
1 地域の課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・区民に対する「自助」「共助」の意識醸成と区内防災施設及び危険箇所の周知 ・地域防災拠点に配備されている資機材の保全 ・新型コロナウイルス感染症を踏まえた防災力の強化 <p>(1) 区民に対する「自助」「共助」の意識醸成と区内防災施設及び危険箇所の周知 ア 防災訓練の支援や研修会を通じて「自助」「共助」の意識の醸成を図ります。 イ 防災マップやハザードマップを活用し、区内防災施設及び危険箇所を周知します。</p> <p>(2) 地域防災拠点に配備されている資機材の保全及び活用 ア 既存の配備資機材の保全を図るとともに、故障機器等の修繕を継続的かつ効率的に実施します。 イ 配備資機材の取扱いについて地域での訓練や研修を通じて理解を深めていきます。</p> <p>(3) 新型コロナウイルス感染症を踏まえた防災力の強化 新型コロナウイルス感染症の影響により、大規模な訓練が行えない中でも地域の防災力を低下させないため、「旭区ご近助マニュアル」を活用し、地域の自主防災組織が行う訓練の支援を消防署と連携して行うことで、自治会・町内会単位の防災力強化を図ります。</p> <p>(4) 福祉避難所については地域住民への普及啓発、継続的な施設の訓練、研修等をはじめとした啓発を推進する必要があります。</p>

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	3 地区担当制度	4 地区懇談会	7 関係団体からの要望
-------------	------------	----------	---------	-------------

2 運営方針等との関係	令和2年度旭区運営方針 II 目標達成に向けた施策 安心・健やかな暮らしの推進
-------------	---

3 根拠法令・要綱等	災害対策基本法、横浜市防災計画、旭区防災計画、旭区災害ボランティア連絡会補助金交付要綱
------------	---

【実績の推移・今後見込み】

項目	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
防災訓練 地区連合主催	17	16	15	17	16	12	19
実施回数 地域防災拠点主催	36	37	37	34	31	32	37
防災講演会参加者数	331	311	358	265	215	200	200

・地区連合数19団体
 ・地域防災拠点37か所
 ■ 見込み

【実施内容】

1 防災訓練事業

内容 区内19の地区連合が主催し実施する防災訓練に対する謝金
 回数等 19回(連合各1回上限)、実施内容確認後、謝金を支払います。
 時期 6月～11月頃

2 防災活動事業

内容 ・区民及び区災害対策本部の災害時における対応力強化を図るために、地域防災拠点の資機材の点検・不良資機材の修繕を行うとともに、必要に応じて備蓄物品等を購入します。
 ・地域の自主防災組織が「旭区ご近助マニュアル」に沿った形で訓練を実施できるよう支援するため、訓練資機材等を拡充し、自治会・町内会単位の防災力強化を図ります。
 ・拠点班の職員が迅速に各拠点へ出向し円滑な拠点運営が可能となるよう、防災バックを整備します。

対象者 区民、区職員

時期 通年

- 3 防災講演会
 内容 新型コロナウイルス感染症への対策を徹底したうえで、区民を対象に防災講演会を開催し、防災に関する各種最新情報の発信や、啓発を行います。
 時期 3月頃(旭公会堂講堂)
- 4 災害ボランティア連絡会補助事業
 内容 発災時にボランティアの受入・送出手を行う旭区災害ボランティア連絡会への補助金の交付を通じて、災害ボランティアコーディネーターの人材育成を行い、旭区内の災害対応力の向上を図ります。
 対象者
 時期 通年
- 5 帷子川改修予定区間カメラ管理事業
 内容 ・河川改修予定となっている帷子川周辺(川井地区)について、大雨の際に河川が溢水する可能性があることから、地域住民が避難の時期を逸することがないように設置したWEBカメラを引き続き運用します。
 ・WEBカメラの通信に使用している3G回線が令和4年3月に使用できなくなることを受け、LTE回線への切り替え工事を行います。
 対象者 帷子川周辺(川井地区)在住の区民
 時期 通年
- 6 災害時医療事業
 内容 災害時における医療体制を確保するため、平常時から区内の医療関係団体、災害拠点病院、その他関係機関が情報交換や通信訓練等を実施し連携を図ります。また、災害時の医療体制を区民の皆様に知って頂くため普及啓発に取り組みます。
 対象者 区民
 時期 通年
- 7 福祉避難所開設・運営支援事業
 内容 旭区の福祉避難所は66施設と多く、多くの避難者受入拠点となることが想定されます。そこで、災害発生時における福祉避難所の円滑な運営及び旭区役所との連携を図るため、福祉避難所の連絡会研修会や災害時開設・運営訓練等を行います。
 対象者 福祉避難所施設職員、区職員等
 時期 随時

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
1 防災訓練事業	380	380	0	
2 防災活動事業	8,323	6,371	1,952	防災バッグ購入による増
3 防災講演会	159	149	10	
4 災害ボランティア連絡会補助事業	150	150	0	
5 帷子川改修予定区間カメラ管理事業	1,570	810	760	回線切り替え工事による増
6 災害時医療事業	647	473	174	感染症拡大防止対策物品の購入による増
7 福祉避難所開設・運営支援事業	140	1,875	△ 1,735	エアーマットの購入完了のため
事業費合計	11,369	10,208	1,161	

【根拠とするデータ等】

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	庶務 福祉保健係 高齢・障害サービス
	本城 泰之 小河内 協子 杉本 光明	中畑 郁実 江原 春彦 吉田 健太郎	大杉 魁司 遠藤 未菜

[旭区 地域振興 課]

予算区分	防犯・防災・安全対策費 防犯・防災・安全対策費 防犯・防災・安全対策費	性質・課題区分	防災 防犯 交通安全	事業開始年度	平成16年度
------	---	---------	------------------	--------	--------

事業名	地域安全安心普及推進事業
-----	--------------

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	○
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
33	5

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源
		国・県	諸収入		
本年度	4,281	450	0		3,831
前年度	3,869	0	0		3,869
増△減	412	450	0	0	△ 38

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予	事業費	2,434	2,434	2,534	予	事業費	4,281	4,281
算	メリット+一般財源	2,434	2,434	2,534	算	一般財源	3,831	3,831
決	事業費	2,380	2,402	2,417	方針に関する決裁 種別()			
算	メリット+一般財源	2,380	2,402	2,417	有:件名()、日付(年月)			
				(無)				

事業の概要(目的)	防犯・防災・交通安全が一体となった安全・安心意識啓発事業の実施、自主防犯活動団体への支援を行い、「自らのまちは自ら守る」意識を高め、安全で安心なまちづくりを推進します。また、子どもたちの安全確保のため、区内各所に子ども110番の家・車を指定し、新小学1年生への防犯ブザー配布により、犯罪予防に活用します。
-----------	--

(説明)

1 地域の課題等

区内の刑法犯認知総件数は減少傾向ですが、高齢者を狙った振り込め詐欺が依然として多くあります。市民意識調査においては、防犯対策に関する要望が多く、安全安心は住民の関心が高い分野です。地域で防犯・防災・交通安全に取り組んでくれた人材を表彰し意識を高めるとともに、自治会町内会が自主的に行う地域防犯活動費助成を通じて活発な自主防犯活動を強力に推進する必要があります。

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	3 地区担当制度	6 区民要望	7 関係団体からの要望
-------------	------------	----------	--------	-------------

2 運営方針等との関係 令和2年度旭区運営方針 II目標に向けた施策 安心・健やかな暮らしの推進

3 根拠法令・要綱等 旭区まちぐるみ地域防犯推進事業助成金交付要綱、旭区子ども110番の家・車設置事業補助金交付要綱、旭区安全安心功労者区長表彰要綱

【実績の推移・今後見込み】				
項目	30年度実績	元年度実績	2年度見込	3年度見込
あさひ安全安心フェア事業(来場者数、人)	356人	200人	100人	200人
まちぐるみ地域防犯推進事業助成金(交付団体数、団体)	60団体	59団体	50団体	60団体
子ども110番の家設置数(累計)	1571件	1571件	1571件	1571件
子ども110番の車設置数(累計)	1265件	1265件	1265件	1265件

- 【実施内容】
- 安全安心啓発事業
防犯・防災・交通安全を一体とした啓発イベントを開催し、表彰・講演・パネル展等を行い安全安心への意識を高めます。
 - 地域防犯推進事業
自主的に地域防犯活動を実施している自治会町内会に対し、防犯活動経費の一部を助成します。振り込め詐欺対策機能を備えた電話機等の購入費の一部を補助します。
 - 子ども安全安心事業
区内小学校新入学児童(1年生)を対象に、防犯ブザーを配布し、犯罪防止に活用します。また、子ども110番の家事業実行委員会に活動経費を補助します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
1 安全安心啓発事業	261	261	0	
2 地域防犯推進事業	3,110	2,680	430	振り込め詐欺対策電話機等購入費補助件数増のため
3 子ども安全安心事業	910	928	△ 18	啓発方法の変更による減
事業費合計	4,281	3,869	412	

【根拠とするデータ等】
旭区刑法犯認知件数、旭区子ども110番の家実行委員会報告書

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動係
	中村 一己	野田頭 由佳	河野 将

予算区分	防犯・防災・安全対策費	性質・課題区分	交通安全	事業開始年度	平成6年度
------	-------------	---------	------	--------	-------

事業名	交通安全対策事業
-----	----------

特記事項	
中期計画-38の政策	<input type="radio"/>
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
20	2
20	5

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	5,569	0	0			5,569
前年度	5,596	0	0			5,596
増△減	△ 27	0	0	0	0	△ 27

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予算	事業費	3,467	3,567	4,504	予算	事業費	5,569	5,569
	メリット+一般財源	3,467	3,567	4,504		一般財源	5,569	5,569
決算	事業費	3,681	3,858	4,820	方針に関する決裁 種別() 有:件名()、日付(年月) 無			
	メリット+一般財源	3,681	3,858	4,820				

事業の概要(目的)	旭区内の交通安全意識のさらなる向上と交通事故防止を図るため、高齢者交通安全対策、スクールゾーン対策及び放置自転車・違法駐車追放対策を実施します。
-----------	--

(説明)								
1 地域の課題等								
<p>放置自転車・オートバイは、通勤者や通学者のほか買い物客など、全時間帯で発生しています。対策をとらない場合、歩行者や身体障害者の通行が阻害されるほか、苦情や要望、自転車盗難の増加や緊急時の歩道の確保などへの影響も懸念されます。また、子どもと高齢者の交通事故防止を推進するため、スクールゾーン対策協議会や交通安全シルバーリーダー連絡協議会との連携強化を推進していく必要があります。</p>								
地域の課題等の収集手段		1 日常の窓口応対等	4 地区懇談会	6 区民要望	7 関係団体からの要望			
2 運営方針等との関係		令和2年度旭区運営方針 II目標に向けた施策 安心・健やかな暮らしの推進						
3 根拠法令・要綱等		スクールゾーン推進組織助成金交付要綱 違法駐車追放等地区協議会活動補助金交付要綱						
【実績の推移・今後見込み】								
		27年実績	28年実績	29年実績	30年実績	元年実績	2年見込	3年見込
旭区内年間交通事故発生件数(暦年)		765件	672件	657件	714件	623件	630件	630件
同事故死者(人)		0人	3人	4人	4人	1人	0人	0人
【実施内容】								
(1) 高齢者交通安全対策		交通安全シルバーリーダーを対象とした研修会、講習会等を開催します。						
(2) スクールゾーン対策		区内小学校スクールゾーン対策協議会に対して助成を行います。 また要望に基づき路面表示等を整備します。						
(3) 違法駐車追放等対策		違法駐車追放等地区協議会に対して助成を行います。						
【事業費の内訳】								
細目事業名		本年度	前年度	差引	説明			
高齢者交通安全対策		471	471	0				
スクールゾーン対策		4,730	4,730	0				
違法駐車追放等対策		368	395	△ 27	実績による減			
事業費合計		5,569	5,596	△ 27				
【根拠とするデータ等】								
旭区交通事故発生概況、平成31年度工事単価、令和2年度工事単価								

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域活動係
	中村 一己	野田頭 由佳	河野 将

予算区分	文化・スポーツ・学習振興費	性質・課題区分	文化・スポーツ	事業開始年度	平成6年度
------	---------------	---------	---------	--------	-------

事業名
区民スポーツ事業

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
7	2、6

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			
		国・県	諸収入		一般財源
本年度	3,371	0	0		3,371
前年度	4,673	0	0		4,673
増△減	△ 1,302	0	0	0	△ 1,302

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業費	2,721	2,721	3,396
メリット+一般財源	2,721	2,721	3,396
決算	2,721	2,721	3,455
決算	2,721	2,721	3,455

歳出	令和4年度	令和5年度
事業費	3,371	3,371
一般財源	3,371	3,371

方針に関する決裁 種別()
有: 件名 ()、日付 (年 月)
無

事業の概要 (目的)	スポーツを通じて、区民の体力向上・健康維持、青少年の健全育成及び地域の連携を促すとともに、人や地域のつながりを密接にし、地域の活性化を図ります。
------------	--

(説明)

1 地域の課題等	旭区では少子化や子育て世代の区外流出などによる人口減少により、地域コミュニティの活力が低下しつつあります。そのため、身近な地域でスポーツ活動を行うことで、世代、性別、ハンディキャップを超えた交流により、地域のつながりを強めることが求められています。 一方、大規模団地を中心に、高齢化率の高まりは市内トップクラスとなっており、QoL向上の面でもスポーツ活動の役割が期待されています。
----------	---

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	7 関係団体からの要望
-------------	------------	-------------

2 運営方針等との関係	令和2年度旭区運営方針 II 目標達成に向けた施策 魅力発信、水・緑・花・スポーツ・文化によるつながりづくりを推進
3 根拠法令・要綱等	・スポーツ基本法・横浜市スポーツ推進委員規則・旭区体育協会補助金交付要綱・旭区スポーツ推進委員連絡協議会に対する活動補助金交付要綱・旭区スポーツ推進委員連絡協議会会則・旭区民スポーツ祭補助金交付要綱・旭区大なわとび大会事業補助金交付要綱・旭区民スポーツ祭実施要項

【実績の推移・今後見込み】

	28年度実績	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度見込
スポーツ祭参加者数	10,443	10,386	7,999	9,305	中止	9,800
大なわとび参加者数	428	411	379	366	中止	456

【実施内容】

- 1 スポーツ協会事業
各部(13部)による競技会、審判・指導者研修会、スポーツ教室等を実施する旭区スポーツ協会への補助金交付
- 2 旭区民スポーツ祭事業
・開催時期：6月から11月まで・主催：旭区民スポーツ祭実行委員会及び区役所・種目：10種目
・写真家による記録映像制作
- 3 旭区大なわとび大会事業
・旭区大なわとび大会事業：旭区大なわとび大会実行委員会への補助金交付

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
スポーツ協会事業	400	400	0	
旭区民スポーツ祭事業	2,400	3,235	△ 835	必要備品見直しによる減
旭区大なわとび大会事業	353	353	0	
その他の事務費	218	685	△ 467	消耗品見直しによる減
事業費合計	3,371	4,673	△ 1,302	

【根拠とするデータ等】

各大会参加者集計人数

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	生涯学習支援 係
	中村 一己	田中 淳一	早野 泰平

予算区分	文化・スポーツ・学習振興費	性質・課題区分	文化・スポーツ	事業開始年度	平成6年度
------	---------------	---------	---------	--------	-------

事業名	文化芸術による心の豊かさ推進事業
-----	------------------

特記事項	○
中期計画-38の政策	
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
5	3

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	5,792	0	0			5,792
前年度	5,792	0	0			5,792
増△減	0	0	0	0	0	0

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予算	事業費	6,042	6,042	6,522	予算	事業費	5,792	5,792
	メリット+一般財源	6,042	6,042	6,522		一般財源	5,792	5,792
決算	事業費	5,742	5,598	6,155	方針に関する決裁種別()			
	メリット+一般財源	5,742	5,598	6,155	有:件名()、日付(年月)			
無								

事業の概要(目的)	旭区民に身近な文化芸術環境の提供と心豊かな区民生活の実現を図るため、文化芸術活動支援事業、横浜旭ジャズまつり支援事業及び旭区文化振興会事業を展開します。
-----------	--

(説明)

1 地域の課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の高齢化にともない、文化団体会員も高齢者の占める割合が増えています。文化芸術による区民の心の豊かさの醸成と活動を通じた会員の生きがいの創出が相乗効果をもたらし、区内の文化芸術発展につながるよう事業の継続が求められています。 ・支援対象団体の担い手が高齢化していることから、旭区の文化芸術活動の発展のためには、新たな区民の参加や新規団体の育成を行うことが必要不可欠です。 ・コロナ禍においても、これまで文化芸術活動により育まれてきた地域コミュニティを継続・発展させていくため、「新しい生活様式」に対応した支援が必要です。
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等 6 区民要望 7 関係団体からの要望
2 運営方針等との関係	令和2年度旭区運営方針 II 目標達成に向けた施策 魅力発信、水・緑・花・スポーツ・文化によるつながりづくりを推進
3 根拠法令・要綱等	旭区文化事業補助金交付要綱 横浜市の文化芸術政策に関する中期的方針

【実績の推移・今後見込み】						
1 文化芸術活動支援事業総参加者数		29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度見込	3年度見込
2 横浜旭ジャズまつり支援事業	文化芸術活動支援事業	14,571人	14,588人	13,672人	1500人	7,500人
3 文化振興会事業総参加者数	横浜旭ジャズまつり支援事業	2,200人	2,200人	2,000人	200人	2,000人
	旭区文化振興会事業	5,078人	4,757人	4,437人	1,650人	3,000人

1～3の総参加者数=来場者数+出演者数

【実施内容】

- 文化芸術活動支援事業 (令和2年度：14団体14事業)
旭区内で実施される文化芸術イベントに対し補助金交付や広報支援等を実施します。
また、新規団体の活動促進及びコロナ禍における動画配信など新たな発表の場づくりを支援します。
- 横浜旭ジャズまつり支援事業
旭区を代表する文化事業。年間を通して実行委員会が実施する会議・企画等の運営支援及び補助金交付等を実施します。
- 旭区文化振興会事業 (令和2年度：34団体)
旭区文化振興会の理事会及び総会の開催、旭区民文化祭の実施、区役所1階ろびーぎやらりーを活用した作品展示等を行います。

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
1 文化芸術活動支援事業	2,022	2,022	0	
2 横浜旭ジャズまつり支援	2,000	2,000	0	
3 旭区文化振興会事業	1,770	1,770	0	
事業費合計	5,792	5,792	0	

【根拠とするデータ等】
事業実施団体から提出される事業完了報告書に基づく。

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	生涯学習支援 係
	中村 一己	富岡 幸世	松本 浩輔

[旭 区 地域振興 課]

予算区分	文化・スポーツ・学習振興費	性質・課題区分	生涯学習	事業開始年度	平成18年度
------	---------------	---------	------	--------	--------

事業名	「みなくる」自主事業活動費
-----	---------------

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	○
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
33	1
33	2
33	3

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	1,363	0	0			1,363
前年度	990	0	0			990
増△減	373	0	0	0	0	373

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予	事業費	758	573	573	予	事業費	1,363	1,363
算	メリット+一般財源	758	573	573	算	一般財源	1,363	1,363
決	事業費	752	564	569	方針に関する決裁 種別()			
算	メリット+一般財源	752	564	569	有:件名 ()、日付 (年 月)			
(無)								

事業の概要(目的)	区民の自主的な市民活動・生涯学習を支援するため、旭区市民活動支援センター「みなくる」は、地域に根ざした運営を目指し、区民の様々な要望に応えながら、活動拠点としての役割を果たしていきます。
-----------	---

(説明)

1 地域の課題等	旭区市民活動支援センターは、生涯学習やサークルをはじめとした各種市民活動が盛んであるという地域特性・ニーズに応え、支援するための地域に密着した活動拠点としての役割を果たしていく必要があります。高齢化が進むなか、駅に隣接しているという好立地条件を持つ当施設は今後ますます、サービスと利便性の向上が求められます。
----------	--

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	5 区民アンケート		
-------------	------------	-----------	--	--

2 運営方針等との関係	令和2年度旭区運営方針 II 目標達成に向けた施策 魅力発信、水・緑・花・スポーツ・文化によるつながりづくりを推進
-------------	--

3 根拠法令・要綱等	・社会教育法 ・生涯学習の振興のための施策の推進体制等の整備に関する法律 ・横浜市市民協働条例 ・第3次横浜市生涯学習基本構想 ・横浜市生涯学習推進指針 ・横浜市男女共同参画推進条例 ・旭区市民活動支援センター運営要綱 ・旭区生涯学習支援バンク実施要項 ・旭区市民活動支援センター事務取扱要領 ・旭区一時託児推進事業実施要領 ・市民活動支援センター事業展開ガイドライン
------------	--

【実績の推移・今後見込み】
平成19年10月1日オープン以来、講座やイベント実施により来館者数も増加していましたが、活動団体の高齢化が進み、29年度に大幅減少しました。活動団体支援のほか、新たな地域の担い手発掘を目指した講座・イベントの展開やセンター機能の強化を図ります。

	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度見込
年間来館者数	28,790	27,559	27,567	21,539	21,022	17,428	17,000

【実施内容】
市民活動支援センター事業
・市民活動・生涯学習に係る相談や機材の貸出し、ミーティングコーナーの提供、市民活動団体の活動を発展させ、新たな地域の担い手発掘を意識したイベントの実施等を通じ、市民活動を支援します。
・生涯学習支援バンク登録者(生涯学習アドバイザー)に対する研修や、区民へのアドバイザー活動のPRを通じて、区民の生涯学習を支援します。
・区民利用施設との連携を強化し、地域課題への取組みを強化します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
市民活動支援センター事業	1,363	990	373	機能強化及び認知度向上のため増
事業費合計	1,363	990	373	

【根拠とするデータ等】
利用者数統計による利用状況

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	生涯学習支援 係
	中村 一己	富岡 幸世	川見 理枝

予算区分	文化・スポーツ・学習振興費	性質・課題区分	文化・スポーツ	事業開始年度	令和元年度
------	---------------	---------	---------	--------	-------

事業名
読書活動推進事業

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
25	1

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	300	0	0			300
前年度	300	0	0			300
増△減	0	0	0		0	0

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度
予算	事業費	0	0	300
	メリット+一般財源	0	0	300
決算	事業費	0	0	300
	メリット+一般財源	0	0	300

歳出		令和4年度	令和5年度
予算	事業費	300	300
	一般財源	300	300
決算			

方針に関する決裁 種別()
有:件名()、日付(年 月)
無

事業の概要 (目的)	平成26年4月1日に「横浜市民の読書活動の推進に関する条例」が施行されました。学校や図書館、活動団体や民間事業者と連携し地域社会で活発な読書活動が展開されることを目的として、関連事業を実施します。
------------	--

(説明)

1 地域の課題等	区役所・図書館・学校・読書関連施設が連携し、幅広い世代の区民の読書活動の推進を図ることが必要とされています。若年層には、全小・中・特別支援学校に学校司書が配置され、魅力ある学校図書館づくりに取り組むことで、本への親しみや楽しみを創出することが期待されています。さらに、元年度に改定した旭区読書活動推進目標に沿った取組・事業を進め、ボランティア等と協働し、イベント等で読書活動を楽しむ機会を拡大することが求められています。
----------	--

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等
-------------	------------

2 運営方針等との関係	令和2年度旭区運営方針 II 目標達成に向けた施策 魅力発信、水・緑・花・スポーツ・文化によるつながりづくりを推進
-------------	--

3 根拠法令・要綱等	横浜市民の読書活動の推進に関する条例、旭区読書活動推進目標
------------	-------------------------------

【実績の推移・今後見込み】

- ・30年度に読書活動推進目標の改定に向け、読書に関心のある区民から幅広く意見を募るワークショップを開催
- ・元年度に読書活動推進目標（5年度までの5か年目標）を改定、旭区中学生ビブリオバトル大会を創設
- ・令和2年度はコロナウイルスの影響で講座等は中止となったが、図書館司書が選んだ絵本を各施設に配布予定
- ・今後も地域に根差した読書活動を進めるため、読書活動団体との協働を実施

【実施内容】

- ・旭区中学生ビブリオバトル大会（オンラインでの実施についても検討）
読書の書評合戦を通じ、読書活動の活性化を狙い、区内全中学生を対象としたビブリオバトル大会を実施
- ・読書活動推進講演会又は講座
読書にちなんだ講演会又は講座を実施することで、区民の読書活動に対して啓発を行う。
- ・本に出会える場所マップ等の増刷、配布

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
読書活動推進事業	300	300	0	
事業費合計	300	300	0	

【根拠とするデータ等】

学校状況調査、図書館貸出数実績、その他教育委員会調査結果

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	生涯学習支援係
	中村 一己	田中 淳一	高橋 節也

予算区分	子育て・子ども・青少年育成費	性質・課題区分	青少年健全育成	事業開始年度	平成6年度
------	----------------	---------	---------	--------	-------

事業名	青少年健全育成事業
-----	-----------

特記事項	○
中期計画-38の政策	
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
29	1

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	564	0	0			564
前年度	593	0	0			593
増△減	△ 29	0	0	0	0	△ 29

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予算	事業費	593	593	593	子算	事業費	564	564
	メリット+一般財源	593	593	593		一般財源	564	564
決算	事業費	593	593	554	方針に関する決裁 種別() 有:件名()、日付(年月) 無			
	メリット+一般財源	593	593	554				

事業の概要(目的)	青少年団体が行う青少年健全育成を目的とした事業を支援します。また、自然科学への関心を高めるため、小学生向けに科学体験イベントを実施します。
-----------	---

(説明)					
1 地域の課題等	<p>青少年の健全育成には、青少年支援団体及び地域が連携し、青少年がより多くの人と関わる機会の創出が求められています。</p> <p>また、青少年の「理科離れ」が指摘されている中、未来を担う子どもたちに科学の楽しさを知ってもらうための取組が求められています。</p>				
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	5 区民アンケート	7 関係団体からの要望		
2 運営方針等との関係	令和2年度旭区運営方針 II 目標達成に向けた施策 安心・健やかな暮らしの推進				
3 根拠法令・要綱等	神奈川県青少年保護育成条例、旭区青少年団体等活動事業補助金交付要綱				

【実績の推移・今後見込み】

	28年度実績	29年度実績	30年度実績	令和元年度実績	令和2年度見込	令和3年度見込
未来発見事業参加者数	91	91	84	81	32	70

【実施内容】

- 青少年団体等活動補助事業
旭区子ども会育成連絡協議会や旭区ボーイスカウト・ガールスカウト連絡会の青少年団体が実施する事業に対して、補助金を交付します。
- こども未来発見事業
小学生向けに自然科学への興味・関心を深める体験イベントとして「天文教室」「実験教室」「プログラミング教室」を実施します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
1 青少年団体活動補助事業	243	243	0	
2 こども未来発見事業	321	350	△ 29	事業手法見直しによる減
事業費合計	564	593	△ 29	

【根拠とするデータ等】

青少年団体が提出する事業完了報告書、こども未来発見事業アンケート結果・報告書

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	生涯学習支援係
	中村 一己	富岡 幸世	池田 拓実

(様式3-1) 令和3年度 事業計画書【自主企画事業費】

[旭 区 総務 課]

No. 23

予算区分	子育て・子ども・青少年育成費	性質・課題区分	子育て支援	事業開始年度	平成9年度
------	----------------	---------	-------	--------	-------

事業名
一時託児サービス事業

特記事項
中期計画-38の政策
中期計画-行政運営
中期計画-財政運営
重点事業
新規・拡充
温暖化対策関連事業

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	974	0	0			974
前年度	917	0	0			917
増△減	57	0	0	0	0	57

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予算	事業費	917	917	917	子	事業費	974	974
算	メリット+一般財源	917	917	917	算	一般財源	974	974
決算	事業費	909	914	817	方針に関する決裁 種別()			
算	メリット+一般財源	909	914	817	有:件名()、日付(年月)			
				(無)				

事業の概要(目的)	市民サービス向上のために、旭区役所庁舎内の託児室において、一時託児サービスを実施します。
-----------	--

(説明)							
1 地域の課題等							
<p>ライフスタイルが多様化するなか、乳幼児を伴って来庁する区民も多くなっています。来庁者が諸手続きをスムーズに行い、落ち着いて相談できるよう、一時託児サービスを実施する必要があります。</p>							
地域の課題等の収集手段		1 日常の窓口対応等		6 区民要望			
2 運営方針等との関係		令和2年度旭区運営方針 III目標達成に向けた組織運営 共感と信頼					
3 根拠法令・要綱等		旭区一時託児サービス事業実施要綱					
【実績の推移・今後見込み】							
	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度見込	R3年度見込
開室回数	262	262	258	259	230	142	250
利用者数	789	903	893	740	640	150	800
【実施内容】							
概要	区役所に来庁する乳幼児を伴った区民が、安心して乳幼児健診や行政相談及び各種手続きを行えるよう、保育協力者により乳幼児を一時預かります。						
対象者	6歳までの未就学児						
開室場所	区役所3階一時託児室						
開室時期	乳幼児健診実施時、転出転入の繁忙期、児童扶養手当受付時期、保育所入所手続き時期、年始による繁忙期、確定申告実施期間						
開室回数	250回(見込) (1回=半日単位)						
開室時間	・午前開室日：8時45分～12時15分 ・午後開室日：12時15分～15時45分 ・1日開室日：8時45分～15時45分						
【事業費の内訳】							
	細目事業名	本年度	前年度	差引	説明		
	一時託児サービス事業	974	917	57			
	事業費合計	974	917	57			
【根拠とするデータ等】							

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	庶務係
	本城 泰之	黒田 智子	磯部 友美

[旭 区 こども家庭支援課]

予算区分	子育て・子ども・青少年育成費	性質・課題区分	子育て支援	事業開始年度	平成18年度
------	----------------	---------	-------	--------	--------

事業名 子育て支援情報提供事業	特記事項	中期計画-38の政策	○	中期計画-38の政策	事業評価書番号	該当なし
	中期計画-行政運営			政策番号	主な施策番号	事業評価書番号
	中期計画-財政運営			23	3、4	
	重点事業			24	4	
	新規・拡充					
	温暖化対策関連事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	4,309	0	0			4,309
前年度	4,210	0	0			4,210
増△減	99	0	0	0	0	99

歳出	平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出	令和4年度	令和5年度
事業費	2,868	2,878	3,926	事業費	4,275	4,275
メリット+一般財源	2,868	2,878	3,926	一般財源	4,275	4,275
決算	2,776	2,767	3,856	方針に関する決裁 種別()		
決算	2,776	2,767	3,856	有:件名()、日付(年月)		
				無		

事業の概要(目的)	妊娠期からの「親育ち」や他者との繋がりのなかで安心して子育てができるよう、気軽に子育ての相談ができる窓口や地域における子育て資源の情報を様々な方法により提供します。
-----------	--

(説明)

1 地域の課題等	都市化や核家族化が進む中で、地域のなかで孤立しがちな養育者や育児に不安を抱えている養育者が増加しているため、行政や地域による育児支援が不可欠になっています。特に旭区は、ひとり親家庭や養育者の精神疾患、子どもの障害など、子育てをする上で様々な困難を抱えている家庭が多い状況です。
----------	--

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	3 地区担当制度	7 関係団体からの要望
-------------	------------	----------	-------------

2 運営方針等との関係	令和2年度旭区運営方針 II 目標達成に向けた施策 安心・健やかな暮らしの推進
-------------	---

3 根拠法令・要綱等	母子保健法、児童福祉法
------------	-------------

【実績の推移・今後見込み】

	29年度	30年度	元年度	2年度(見込)	3年度(見込)
1 子育て支援情報PR事業					
(1) 子育てガイドブックとことこ	5,000部	5,000部	5,000部	5,000部	5,000部
(2) 子ども家庭支援相談リーフレット	6,000部	6,000部	6,000部	6,000部	6,000部
(3) 子ども家庭支援相談周知グッズ	2,200個	1,000個	2,200個	2,200個	2,200個
2 乳幼児健診における育児講座	2,544組	2,400組	2,200組	2,000組	2,200組
3 窓口相談件数	24,768	25,394	26,807	20,145	28,000
4 出生数	1,666人	1,556人	1,511人	1,650人	1,600人

【実施内容】

- 子育て支援情報PR事業

相談先や親子が交流できる場所等の子育て情報を掲載したガイドブックの作成を子育て支援拠点に委託することで、子育て中の親にとって、より有益で魅力的な子育て支援情報の発信をします。さらには、子育て支援拠点が担う、区内の地域子育て支援ネットワーク機能の強化を図ります。

また、子ども・家庭支援相談等を案内するため、新小・中学1年生の保護者にリーフレットを配布し、母子健康手帳交付者には周知グッズを配付します。
- 乳幼児健診における育児講座

対象児の約98%が受診する乳幼児健診を集団指導の好機と捉え、待ち時間を活用し、食事や歯磨き、保育のポイント等、月・年齢に応じた講座を実施します。また、診察会場に保育ボランティアを配置し、着替え等の手助けをします。
- タブレット利用情報提供・活用

タブレット端末を利用することで、窓口や訪問時に子育て情報の提供の際に既存の区局のホームページや地区情報等を直接参照した説明や、オンラインで外部との会議や研修の開催等、きめ細やかなご案内やコロナ禍における事業の安定化・効率化を実現します。
- こんにちは赤ちゃん訪問記念品事業

「こんにちは赤ちゃん訪問※」の際に、これから旭区で子育てする世帯に出産をお祝いする記念品や、あさひの逸品協力店で使用できるクーポン券を配付します。

※生後4か月までの赤ちゃんのいるご家庭に対し、地域の訪問員がご自宅を訪問し、地域の子育て情報をご案内する事業です。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
1 子育て支援情報PR事業	1,200	1,233	△ 33	事業整理による減
2 乳幼児健診における育児講座	2,159	1,677	482	感染症拡大防止のための増
3 タブレット利用情報提供	432	432	0	
4 こん赤訪問記念品事業	518	468	50	事業整理による増
5 窓口環境整備	0	400	△ 400	完了による減
事業費合計	4,309	4,210	99	

【根拠とするデータ等】

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	こども家庭係
	松田 悟	佐々木 結花	山中 法子

(旭 区 - 24)

[旭区 子ども家庭支援課]

予算区分	子育て・子ども・青少年育成費	性質・課題区分	子育て支援	事業開始年度	平成18年度
------	----------------	---------	-------	--------	--------

事業名
子育て・若者支援事業

特記事項	
中期計画-38の政策	<input type="checkbox"/>
中期計画-行政運営	<input type="checkbox"/>
中期計画-財政運営	<input type="checkbox"/>
重点事業	<input type="checkbox"/>
新規・拡充	<input type="checkbox"/>
温暖化対策関連事業	<input type="checkbox"/>

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
23	1、2、4
29	2、6
30	1

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	3,520	0	0			3,520
前年度	3,487	0	0			3,487
増△減	33	0	0	0	0	33

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予算	事業費	2,348	2,737	3,106	子	事業費	3,520	3,520
	メリット+一般財源	2,292	2,737	3,106	算	一般財源	3,520	3,520
決算	事業費	2,289	2,573	2,947	方針に関する決裁 種別()			
	メリット+一般財源	2,289	2,573	2,947	有:件名()、日付(年月)			
(無)								

事業の概要(目的)	育児不安を抱える養育者を適切に把握し、必要な支援に繋げられるよう、支援者の知識・技能の向上と見守りのネットワークの強化を進めます。さらに、発達支援及び障害児に関する養育者や地域の支援者などの理解促進を図り、健やかな子どもの発達を支援します。また、ひきこもり等の困難を抱える若者が社会参加しやすい環境づくりを支援します。
-----------	---

(説明)

1 地域の課題等	都市化や核家族化が進む中で、地域のなかで孤立しがちな養育者や育児に不安を抱えている養育者が増加しているため、行政や地域による育児支援が不可欠になっています。特に旭区は、ひとり親家庭や養育者の精神疾患、子どもの障害など、子育てをする上で様々な困難を抱えている家庭が多い状況です。そのため、妊娠期から相談ができる窓口の周知、子どもへの適切な関わり方など、養育者及び支援者に対する支援に取り組む必要があります。
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等 3 地区担当制度 7 関係団体からの要望
2 運営方針等との関係	令和2年度旭区運営方針 II 目標達成に向けた施策 安心・健やかな暮らしの推進
3 根拠法令・要綱等	母子保健法、児童福祉法

【実績の推移・今後見込み】

	29年度	30年度	元年度	2年度(見込)	3年度(見込)
1 両親(母親)教室	100組	84組	94組	100組	100組
2 地域育児(赤ちゃん)教室	3,000人	3,206人	2,357人	700人	1,000人
3 発達障害児等支援事業	185人	95人	125人	60人	70人
4 児童虐待予防事業	-	122人	114人	90人	120人
5 困難を抱える若者支援事業	事業訪問等 26事業者	社会参加事業 モデル実施	社会参加 環境づくり	社会参加 環境づくり	社会参加 環境づくり

【実施内容】

- 妊娠期支援事業
 - 妊娠・出産マイカレンダー
母子健康手帳面接時に妊娠・出産マイカレンダーを作成し、個別支援を行います。妊娠期から支援を行い、妊婦が安心して、出産・養育できるよう支援します。
 - 両親(母親)教室
母親教室に加えて、父親の積極的な育児参加を図るため、沐浴体験や育児講座等を行う両親教室を、年4回土曜日に開催します。
- 地域育児(赤ちゃん)教室
第1子の養育者を対象に、地域における仲間づくりの場の提供や子どもとの関わりなどを学習する教室を、区内14会場で開催します。

3 障害児等支援事業

えくぼ教室は言語発達がゆっくり、落ち着きがない等、子どもとの関わり方に悩んでいる養育者と子どもを対象に支援を行います。ふくっこの会はダウン症等の染色体異常をもつ子どもと養育者を対象に学習相談会や交流会を行います。
 発達支援にかかわる事業所紹介冊子を作成し、発達支援が必要な子どもが適切な時期に必要な支援が受けられるようにします。

4 児童虐待予防事業

(1) 親エール事業

児童虐待を予防するため、どならない・叩かないしつけなどのメッセージリーフレットを作成します。
 保護者へ幼児期からの子どもとのコミュニケーションやしつけについて啓発を行います。
 令和2年度に引き続き、令和3年度も幼児期向けのリーフレットを作成します。

(2) 養育支援教室（アンダンテ）

養育支援教室（アンダンテ）では、養育者がリラックスしながらグループディスカッションができるように、ヨガの時間や子どもの保育ボランティアを導入することで参加意欲を高め、適切な育児が出来るように支援します。

(3) ベビーマッサージ教室

強い育児不安など養育支援が必要な親子を対象にベビーマッサージを通して乳児早期から養育者と児の絆形成を支援します。

5 子育て支援連絡会

区民と関係機関・行政との協働により、子育て支援活動を推進し、安全に安心して子育てができる街づくりを目指します。子育て支援連絡会主催で、地域の支援者の子育て支援力を高めるための講演会や支援者の学習会を開催します。

6 ひとり親家庭相談支援事業

ひとり親世帯を対象に、児童扶養手当現況届及び母子父子寡婦福祉資金貸付の申請受付時に、子どもの教育など家庭全般についての相談を相談員（社会福祉職）を配置して実施します。

7 困難を抱える若者支援事業

ひきこもり等の困難を抱える若者の社会参加・就労に向けた支援として、西部ユースプラザ、地域ケアプラザ等の福祉施設と連携し、地域での社会体験・就労体験等を促進します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
1 妊娠期支援事業	352	269	83	契約実績に基づく増
2 地域育児（赤ちゃん教室）	1,066	954	112	衛生用品等購入による増
3 発達障害児等支援事業	746	1,039	△ 293	版下作成済による減
4 児童虐待予防事業	487	401	86	職員従事からの切替による増
5 子育て支援連絡会	249	204	45	衛生用品等購入による増
6 ひとり親家庭相談支援事業	500	500	0	
7 困難を抱える若者支援事業	120	120	0	
事業費合計	3,520	3,487	33	

【根拠とするデータ等】

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	子育て支援担当
	松田 悟	横田 慈	山中 法子

[旭 区 こども家庭支援 課]

予算区分	子育て・子ども・青少年育成費	性質・課題区分	子育て支援	事業開始年度	平成18年度
------	----------------	---------	-------	--------	--------

事業名 保育所地域子育て支援事業	特記事項	中期計画-38の政策	政策番号	主な施策番号	事業評価書番号	該当なし
	中期計画-38の政策 <input type="checkbox"/> 中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業	23	4	24	3	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	5,839	0	37			5,802
前年度	6,126	0	37			6,089
増△減	△ 287	0	0	0	0	△ 287

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予算	事業費	7,874	7,916	6,664	子	事業費	5,839	5,839
	メリット+一般財源	7,864	7,874	6,621	算	一般財源	5,802	5,802
決算	事業費	7,885	7,839	5,238	方針に関する決裁 種別()			
	メリット+一般財源	7,796	7,817	5,217	有:件名()、日付(年月)			
(無)								

事業の概要(目的)	養育支援の強化を目的として、臨床心理士による民間保育所等での相談支援や保育施設等を対象とする研修を実施し、子ども理解を深め、支援力を向上させます。また、子育て応援イベントや保育所において施設開放、育児相談、一時保育等の地域子育て支援を行います。
-----------	--

(説明)

1 地域の課題等	養育力低下に伴う家族支援の必要性が高まり、発達障害等で保護者や子どもへの対応が困難な事例が増加しているため、保育所においても臨床心理士等の専門家と協働して対応することが求められています。また、核家族化が進み、地域との繋がりが希薄になる中で、家庭で子育てをしている養育者の中には、身近に相談できる人がいないため地域で孤立したり、育児不安を抱えている方も多く、地域の保育資源である保育所を有効活用した子育て支援を進めることが重要です。
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等
2 運営方針等との関係	令和2年度旭区運営方針 II 目標達成に向けた施策 安心・健やかな暮らしの推進
3 根拠法令・要綱等	横浜市認定子ども園及び保育所地域子育て支援事業実施要綱、旭区市立保育所ランチ交流事業実施要綱

【実績の推移・今後見込み】

事業参加者数等の推移	29年度	30年度	元年度	2年度(見込)	3年度(見込)
1 保育所を活用した養育支援強化事業	281人	104人	178人	資料配布	150人
2 保育のひろば事業	558人	716人	814人	-	900人
3 地域交流事業					
(1) 食育推進 食育講座	134人	159人	119人	120人	120人
(2) 食育推進 ランチ交流(参加人数)	74人	93人	92人	130人	130人
(3) 図書の出貸	732冊	1,119冊	977冊	800冊	800冊
(4) 交流スペースの提供	1,311人	1,233人	1,078人	1,100人	1,100人
(5) みんなのまちの保育園応援隊登録者数	108人	100人	92人	80人	80人
4 市立保育園数	6園	6園	6園	5園	5園

※地域交流事業は令和元年度に新型コロナウイルス感染拡大防止のため休止期間あり

【実施内容】

- 保育所を活用した養育支援強化事業
 - 臨床心理士配置による養育支援事業
養育支援を必要とした子どもへの理解を深めるため、区内民間保育所等への臨床心理士の訪問による相談支援を実施します。
 - 臨床心理士による研修実施
区内の保育施設等を対象に、多職種協働による子ども支援を内容とした研修を実施します。
- 保育のひろば事業
区内保育所等が連携して、遊びや食育、保育施設等を紹介する子育て応援イベント「あさひ子育て保育園ひろば」を実施します。また、エリアごとにミニ保育園ひろばを実施します。

3 地域交流事業

(1) 食育推進

地域の保護者を対象に、離乳食や食事、おやつを手作りすることの大切さを伝える食育講座や園の給食を有料で提供するランチ交流を実施します。

(2) 図書の貸出

地域の乳幼児がいる家庭を対象に絵本の貸し出しを行うとともに、施設開放などで来園した親子に対して、家庭での絵本の読み聞かせの大切さ・楽しさを伝えます。

(3) 交流スペースの提供

園の施設の一部を地域の親子に開放し、親子の交流や子育てに関する情報提供・相談などを行う親子の居場所づくりを進めます。また、養育に不安や困難を抱える親子の早期発見・相談等の適切な支援につなげます。

(4) みんなのまちの保育園応援隊

地域の方々による園内でのボランティア活動を通して、園と子ども達に愛着を持って交流しながら、保育園を見守っていただきます。また、ボランティアの経験や特技を活かし、遊びやものづくりの楽しさを伝えていただき、子どもたちの豊かな成長につなげます。

4 保育園ネットワーク環境整備事業【新規】

民間保育園等との会議や研修をタブレット端末等によるオンラインで実施することで、コロナ禍においても公立保育園が地域の保育園等と連携、協力を推進できるようネットワーク環境を整えます。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
1 保育所を活用した養育支援強化事業	2,152	3,181	△ 1,029	事業見直しによる減
2 保育のひろば事業	840	840	0	
3 地域交流事業	1,590	0	1,590	細目事業統合による増
4 保育園ネットワーク環境整備事業	1,257	0	1,257	新規事業
食育推進事業	0	881	△ 881	細目事業統合による減
図書の貸し出し	0	168	△ 168	細目事業統合による減
交流スペースの提供	0	366	△ 366	細目事業統合による減
みんなのまちの保育園応援隊	0	690	△ 690	細目事業統合による減
事業費合計	5,839	6,126	△ 287	

【根拠とするデータ等】

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	こども家庭係
	松田 悟 佐藤 千鶴	佐々木 結花 真栄田 久恵 安部 拓磨	山中 法子

[旭区 福祉保健課]

予算区分	地域福祉保健推進費	性質・課題区分	その他福祉・保健・衛生	事業開始年度	平成18年度
------	-----------	---------	-------------	--------	--------

事業名	地域福祉保健計画事業
-----	------------

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	○
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策		
政策番号	主な施策番号	
14	1	

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	3,216	0	0			3,216
前年度	4,137	0	0			4,137
増△減	△ 921	0	0	0	0	△ 921

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予	事業費	1,738	1,139	5,039	予	事業費	1,738	1,738
算	メリット+一般財源	1,738	1,139	5,039	算	一般財源	1,738	1,738
決	事業費	1,571	1,008	4,196	方針に関する決裁 種別()			
算	メリット+一般財源	1,571	1,008	4,196				

⑤: (第4期旭区地域福祉保健計画の策定について)、日付(平成31年2月)

事業の概要(目的)	「地域で支え合い安心して自分らしく暮らせるまち旭区」を目指し、区民・事業者・行政・社会福祉協議会・地域ケアプラザ等が協働し、第4期旭区地域福祉保健計画(計画期間：令和3年度～令和7年度)の推進に一体となって取り組みます。
-----------	--

(説明)

1 地域の課題等

【第4期計画の推進】
 推進の進捗を把握するとともに、推進組織の支援や関係機関・団体との連携強化に取り組む必要があります。また、地域住民に対して、取組の内容や状況についての情報共有など、第4期計画の開始に合わせて更なる普及啓発を進める必要があります。

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	3 地区担当制度	4 地区懇談会	7 関係団体からの要望
-------------	------------	----------	---------	-------------

2 運営方針等との関係 令和2年度旭区運営方針 II 目標達成に向けた施策 安心・健やかな暮らしの推進

3 根拠法令・要綱等 社会福祉法、第4期横浜市地域福祉保健計画、第4期旭区地域福祉保健計画、旭区地域福祉保健推進会議運営要綱

【実績の推移・今後見込み】

	29年度実績	30年度実績	令和元年度実績	2年度見込み	3年度見込み
きらっとあさひ福祉大会参加者数	423人	411人	387人	中止(予定)	350人

【実施内容】

- 地域福祉保健計画推進・普及啓発事業
 - 地区別支援チーム研修、地域活動者が参加する研修会などを実施することにより、計画初年度となる第4期地域福祉保健計画を推進します。
 - 地域福祉保健計画や地区活動について広く一般区民に知っていただけるよう、普及啓発の強化を図ります。
 - 地域で福祉保健活動の中心的な役割を担っている地域ケアプラザを広報周知し、認知度の向上を図ります。
- 地域福祉保健推進会議
 旭区の保健・医療・福祉等の関係団体との連携を図り、区内の福祉保健関係事業の推進について意見を求めます。
- きらっとあさひ福祉大会
 旭区の社会福祉の増進に功績のあった個人・団体に対して、旭区社会福祉協議会から顕彰を実施します。また、地域の福祉保健活動の紹介や、活動に役立つ情報の発信を行います。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
第4期地域福祉保健計画策定事業	0	3,069	△ 3,069	計画策定終了による減
地域福祉保健計画推進・普及啓発事業	2,541	479	2,062	第4期計画開始にあたっての推進・啓発強化による増
地域福祉保健推進会議	298	212	86	委員数変更による減
きらっとあさひ福祉大会	377	377	0	
事業費合計	3,216	4,137	△ 921	

【根拠とするデータ等】
 横浜市将来人口推計

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	事業企画担当
	小河内 協子	武島 かおり	緒方 信也

予算区分	地域福祉保健推進費	性質・課題区分	その他福祉・保健・衛生	事業開始年度	平成12年度
------	-----------	---------	-------------	--------	--------

事業名
地域のつながりづくりに向けた民生委員の活動支援事業

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
14	2

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	3,203	0	0			3,203
前年度	2,780	0	0			2,780
増△減	423	0	0	0	0	423

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予算	事業費	2,650	2,371	2,909	子	事業費	3,203	3,203
	メリット+一般財源	2,650	2,371	2,909	算	一般財源	3,203	3,203
決算	事業費	2,647	2,312	2,886	方針に関する決裁 種別()			
	メリット+一般財源	2,647	2,312	2,886	有:件名()、日付(年月)			
(無)								

事業の概要(目的)	民生委員の活動を支援することにより、地域のつながりづくりを推進します。また、活動内容や制度が地域住民に広く理解されるよう普及啓発を行います。
-----------	--

(説明)

1 地域の課題等	近年、少子高齢化が進み、核家族化により地域社会のつながりが希薄化しています。区民が安心して生活を送るためには、地域や隣近所とのつながりが欠かせません。地域の身近な相談役であると同時に、つながりづくりの役割を持つ民生委員を支援することで、住民が互いに助け合い、支え合う地域の形成・確立を推進します。また、民生委員に対する地域住民の理解を深めるために、活動内容や制度に関する普及啓発が必要です。
----------	---

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	3 地区担当制度	4 地区懇談会	7 関係団体からの要望
-------------	------------	----------	---------	-------------

2 運営方針等との関係	令和2年度旭区運営方針 II目標達成に向けた施策 安心・健やかな暮らしの推進
-------------	--

3 根拠法令・要綱等	ジュニアボランティア体験事業補助金交付要綱、ゆかいなコンサート支援事業補助金交付要綱
------------	--

【実績の推移・今後見込み】

ジュニアボランティア参加者数(延べ)	H12~H29実績	30年度実績	元年度実績	2年度	3年度見込み	(人)
	4,438	328	279	中止※	300	
「ゆかいなコンサート」参加者数(延べ)	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度	3年度見込み	(人)
	550	600	450	中止※	450	

※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点による。

【実施内容】

- ジュニアボランティア体験事業 ～民生委員とともに～
 <旭区民生委員児童委員協議会ジュニアボランティア体験事業>
 区内市立小5、6年生から募集した「ジュニアボランティア」に、民生委員とともに各種福祉活動や地域行事等に参加してもらうことにより、地域福祉及びボランティアへの理解と関心を高めるとともに、次世代に続く人材育成を図ります。実施主体である「旭区民生委員児童委員協議会」に対し補助金を交付します。ジュニアボランティア経験者の継続的な活動のきっかけ作りのため、経験者による地区ごとの交流会を行います。
 - 活動内容：各地区民生委員児童委員協議会(20地区)が地区ごとに企画
 「福祉施設等の訪問・交流」「高齢者昼食会での配膳等の手伝い」「子育てサロンでの乳幼児親子との交流」「地域行事等への参加」、「赤い羽根共同募金への参加協力」など
 - 活動の振返り：体験発表会や体験感想文集により地域、学校等に事業を報告・紹介

2 民生委員活動支援事業

(1) 主任児童委員PRイベント（ゆかいなコンサート）

子育て中の保護者等の交流、リフレッシュの場の提供、虐待防止・主任児童委員のPR等を目的としたイベントを開催します。実施主体である「旭区主任児童委員連絡会」に対し補助金を交付します。

(2) 民生委員活動支援

啓発用物品等を作成し、イベントやパネル展等を通じて地域住民の理解を深めることを目的に活動内容や制度の普及啓発を行い、地域住民の理解を深めます。また、民生委員とともに地域活動をする自治会町内会及び連合町内会へ民生委員啓発物品を送付することで地域での民生委員への理解を深め、地域で活動しやすい環境づくりにつなげていきます。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
ジュニアボランティア体験事業～民生委員とともに～	2,244	1,699	545	旭区社会福祉協議会との費用分担見直しによる増
要援護高齢者等あんしん見守り支援事業支援事業	0	715	△ 715	事業終了による減
民生委員活動支援事業	959	366	593	感染症拡大防止対策費による増
事業費合計	3,203	2,780	423	

【根拠とするデータ等】

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	福祉保健係
	小河内 協子	江原 春彦	村嶋 典子

[旭 区 福祉保健 課]

予算区分	地域福祉保健推進費	性質・課題区分	健康づくり	事業開始年度	平成19年度
------	-----------	---------	-------	--------	--------

事業名	健康生活支援事業
-----	----------

特記事項	○
中期計画-38の政策	
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
15	1
15	2
15	3

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	2,783	0	0			2,783
前年度	3,707	0	0			3,707
増△減	△ 924	0	0	0	0	△ 924

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予算	事業費	2,584	2,661	2,962	予算	事業費	2,783	2,683
	メリット+一般財源	2,584	2,661	2,962		一般財源	2,783	2,683
決算	事業費	2,458	2,822	2,842	方針に関する決裁 種別()			
	メリット+一般財源	2,458	2,822	2,842	有:件名 ()、日付 (年 月)			

事業の概要(目的)	健康寿命延伸を目標に運動・栄養・歯科・禁煙推進など生活習慣病の予防を区民に働きかけます。
-----------	--

(説明)

1 地域の課題等	<p>・平成25年度に第2期健康横浜21が策定され、単に寿命を延ばすというだけでなく、健康寿命を延伸させることが求められ、生活習慣病予防、運動習慣推進、口腔ケア、禁煙支援・受動喫煙防止、食育推進等の活動に取り組む必要があります。</p> <p>・平成28年度「市民意識調査」では、意識して運動をしていない人が市内第17位と低く、また、主観的健康観が第17位と他区に比較すると、健康についての数値が低い項目があります。同様に平成30年度旭区市民意識調査でも、40代以下はウォーキングをする習慣や、運動する習慣が50代以降の年代と比較すると低い値となっています。これらのことから、次世代の健康にも影響を及ぼすと考えられる働き・子育て世代を中心に積極的に健康づくりを推進していく必要があります。</p> <p>・平成30年度からスタートしたよこはま健康アクションStage 2に基づき、働き・子育て世代からの健康づくりや、地域活動を通じた健康づくり、受動喫煙防止の取り組みなど10の取り組みの推進を強化する必要があります。</p>
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等 7 関係団体からの要望 8 その他
2 運営方針等との関係	令和2年度旭区運営方針 II目標達成に向けた施策 安心・健やかな暮らしの推進
3 根拠法令・要綱等	健康増進法 食育基本法 母子保健法 第2期健康横浜21 女性の健康習慣実施要綱(厚生労働省)

【実績の推移・今後見込み】

	1 ウォーキング フレンズ事 業	2 健康づくり 環境整備	3 働き・子育て 世代の健康応 援事業	4 親子 歯みがき 教室	5 歯周病 予防教 室	6 禁煙推進・受 動喫煙防止 啓発推進事業	7 おにぎり あさひく ん人形劇
	参加者	設置物	啓発人数	参加組	参加者	地区 配布部	参加者
3年度見込	80	健康プレート	1,000	240	40	15 4,000	500
2年度見込	中止	健康プレート	100	160	中止	1 100	中止
元年度実績	117	健康プレート		240	40	15 4,000	500

【実施内容】	<p>《運動習慣推進》</p> <p>1 ウォーキングフレンズ事業</p> <p>【目的】①ウォーキングで健康づくりを実践する区民を増やす ②子育て世代の女性に運動する習慣をつけるため、ウォーキングの仕方や簡単な講話ができる人材を育成する</p> <p>【対象】健康づくり教室参加者(町ぐるみ健康づくり教室など)、地域ケアプラザの自主事業参加者、保健活動推進員 他</p> <p>【方法】①ウォーキングフレンズ入門編・スキルアップ編 ウォーキングの地域への普及ができるよう、地域ケアプラザを会場に講座を開催し、受講者自身が地域活動の中で、ウォーキング方法の普及を行う。 ②ウォーキングフレンズアドバイザー編 H29年・30年度・R元年度にウォーキングフレンズ入門編/スキルアップ編に参加した人に対し、フォローアップ研修を実施し、地域の人材として活躍してもらおう。</p> <p>【日程】入門編・スキルアップ編(6~8月) アドバイザー編(8~9月)</p>
--------	--

2 健康づくり環境整備

【目的】誰もが気軽に運動できる意識と習慣の醸成

【対象】区民一般

【方法】歩き方のポイントや健康アドバイスを記載した健康プレートを地域に配布するなど、様々な場所や機会をとらえ、他課と連携して区民のウォーキングの機運を高める。

《生活習慣病予防》

3 働き・子育て世代の健康応援事業

【目的】若いうちからの健康意識の醸成 【対象】働き・子育て世代の区民

【方法】区内の企業・施設への健康経営によるアプローチ、地域の子育て世代の集まる場における健康チェックの実施、専門職による出前講座実施、あさひくん健康カレンダー作成・配布

《口腔ケア》

4 親子歯みがき教室

【目的】乳幼児期の虫歯予防 【対象】概ね9か月から1歳3か月前後の乳幼児と保護者 20組/回

【方法】歯科衛生士によるむし歯予防講話と歯みがき実習、保護者の虫歯菌検査など教室形式で開催

【日程】毎月1回

5 歯周病予防教室

【目的】成人・高齢者の歯周病予防 80才になっても20本の自歯を残す

【対象】概ね40才以上の区民 40人

【方法】歯科医師・歯科衛生士による歯周病予防講話、歯みがき実習 2日間 1コース

【日程】6月～7月

《禁煙推進・受動喫煙防止》

6 保健活動推進員・薬剤師会等による禁煙推進・受動喫煙防止活動

【目的】区民の禁煙推進・受動喫煙防止 【対象】区民全般

【方法】保健活動推進員の地区活動の中で自主的に実施、薬剤師会等と連携した禁煙事業推進

【日程】各地域のイベントに合わせて実施（通年）

《食育》

7 おにぎりあさひくんの人形劇、食育啓発事業

【目的】こどもの頃から食育・朝食を摂る必要性の理解

【方法】ヘルスメイトによる「おにぎりあさひくん」人形劇を保育園・幼稚園（申込制）で出前形式で実施

【対象】乳幼児健診受診児やその親・保育園・幼稚園児等

【日程】通年

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
ウォーキングフレンズ事業	461	571	△ 110	講座回数変更による減
健康づくり環境整備事業	195	285	△ 90	スタンプラリー事業終了による減
働き・子育て世代の健康応援事業	812	1,617	△ 805	健康測定機器購入完了による減
親子歯みがき教室	651	651	0	
歯周病予防教室	155	155	0	
禁煙推進・受動喫煙防止啓発推進事業	228	228	0	
おにぎりあさひくんの人形劇、食育啓発事業	281	170	111	事業配布チラシ作成による増
健康フェア	0	30	△ 30	統合事務費への予算統合による減
事業費合計	2,783	3,707	△ 924	

【根拠とするデータ等】

平成28年度市民意識調査、平成30年度旭区民意識調査

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	健康づくり係
	小河内 協子	鋪 歆奈	鋪 歆奈

(旭 区 - 29)

[旭 区 高齢・障害支援 課]

予算区分	地域福祉保健推進費	性質・課題区分	高齢者	事業開始年度	平成16年度
------	-----------	---------	-----	--------	--------

事業名	認知症をみんなでささえるまちづくり事業
-----	---------------------

特記事項	
中期計画-38の政策	<input type="checkbox"/>
中期計画-行政運営	<input type="checkbox"/>
中期計画-財政運営	<input type="checkbox"/>
重点事業	<input type="checkbox"/>
新規・拡充	<input type="checkbox"/>
温暖化対策関連事業	<input type="checkbox"/>

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
16	4

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	1,308	0	0			1,308
前年度	1,197	0	0			1,197
増△減	111	0	0	0	0	111

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予算	事業費	944	733	937	子	事業費	1,308	1,308
	メリット+一般財源	944	733	937	算	一般財源	1,308	1,308
決算	事業費	773	630	891	方針に関する決裁 種別()			
	メリット+一般財源	773	630	891	有:件名()、日付(年月)			
(無)								

事業の概要(目的)	地域の様々な活動を促進し、地域や関係機関の支えあいにより、認知症になっても安心して暮らし続けることができる地域づくりを進めます。
-----------	--

(説明)						
1 地域の課題等	旭区は高齢者数72,186人(市内1位) 高齢化率29.2%(市内3位) 認知症者数は概算で7,658人となっており、今後ますます認知症患者数と介護する家族数の増加が見込まれます。家族や本人が安心して地域で生活できるよう、区民が認知症という病気を正しく理解し、対応方法を学び、寛容さを醸成する取り組みが必要です。					
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	3 地区担当制度	7 関係団体からの要望			
2 運営方針等との関係	令和2年度旭区運営方針 II目標達成に向けた施策 安心・健やかな暮らしの推進					
3 根拠法令・要綱等	精神保健福祉法、横浜市福祉保健センター精神保健福祉業務実施要綱					
【実績の推移・今後見込み】						
	28年度末	29年度末	30年度末	R1年度末	R2年度末	R3年度末
徘徊SOSネットワーク協賛店数(箇所)	609	600	597	600	605	615
徘徊SOSネットワーク登録者数(人)	155	225	183	220	230	250
【実施内容】						
1 地域活動の推進 認知症の方を見守るために協賛店や区内の関係機関が顔の見える関係づくりを構築するため、認知症をみんなで支える地域支援連絡会を開催します。						
2 啓発活動の展開 認知症を正しく理解するため、対応のためのDVDを作成し、商店街等地域の協力を得て、模擬訓練を実施していきます。						
【事業費の内訳】						
細目事業名	本年度	前年度	差引	説明		
地域活動の推進	308	308	0			
啓発活動の展開	1,000	889	111	啓発動画作成のため		
事業費合計	1,308	1,197	111			
【根拠とするデータ等】						

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	高齢者支援担当
	杉本 光明	森山 まり子	森山 まり子

[旭 区 高齢・障害支援 課]

予算区分	地域福祉保健推進費	性質・課題区分	高齢者	事業開始年度	平成6年度
------	-----------	---------	-----	--------	-------

事業名 高齢者生きがいがづくり支援事業	特記事項	中期計画-38の政策	事業評価書番号	該当なし
	中期計画-38の政策 政策番号 主な施策番号	中期計画-行政運営	事業評価書番号	
	中期計画-財政運営			
	重点事業			
	新規・拡充			
	温暖化対策関連事業			

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	865	0	0			865
前年度	245	0	0			245
増△減	620	0	0	0	0	620

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予算	事業費	634	245	487	子	事業費	865	865
算	メリット+一般財源	634	245	487	算	一般財源	865	865
決算	事業費	626	237	481	方針に関する決裁 種別()			
算	メリット+一般財源	626	237	481	有:件名()、日付(年月)			
				(無)				

事業の概要(目的)	高齢者が住み慣れた地域で、健康で生きがいを見出した活動ができるよう、老人クラブ・友愛活動への支援等を行うことにより、地域高齢者福祉の推進を図ります。
-----------	--

(説明)	
1 地域の課題等	旭区は高齢者が72,186人(令和2年3月31日現在)と市内で最も多く、急速に進行する高齢社会において、高齢者が地域の中で健康で生きがいを見出した活動ができるよう支援する必要があります。旭区老人クラブ連合会は、市内で最大の9,000人を超える会員を擁しており、老人クラブの活動が地域高齢者福祉活動の推進に大きく寄与しています。老人クラブの活動の活性化のため、会員の加入促進に向けた取組が必要です。
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等 7 関係団体からの要望
2 運営方針等との関係	令和2年度旭区運営方針 II 目標達成に向けた施策 安心・健やかな暮らしの推進
3 根拠法令・要綱等	老人福祉法

【実績の推移・今後見込み】					
共催行事 9回実施予定					
6月	健康を進める運動講演会(旭公会堂)	6月	輪投げ大会(旭公会堂)	7月	友愛活動員研修会(旭公会堂)
10月	囲碁・将棋大会(旭公会堂)	11月	50周年記念イベント(旭公会堂)	12月	単位クラブ役員研修会(旭公会堂)
1月	会長研修会(旭公会堂)	2月	ことぶき大学(旭公会堂)	2月	趣味の作品展(旭公会堂)

【実施内容】

○老人クラブ支援事業
旭区老人クラブ連合会と共催で研修会・講演会等の各種事業を行い、趣味や健康づくりの機会を提供し、仲間づくりの促進及び老人クラブ活動の活性化を図ります。

○友愛活動員支援事業
各単位老人クラブの友愛活動員が中心となって行う、同じ世代の高齢者が地域で共に支えあう友愛活動(訪問による話し相手、見守り活動、居場所づくりなど)に対する支援を行います。

【事業費の内訳】					
細目事業名	本年度	前年度	差引	説明	
老人クラブ支援事業	813	193	620	ネット上で視聴を可能とするため	
友愛活動員支援事業	52	52	0		
事業費合計	865	245	620		

【根拠とするデータ等】
令和2年度 横浜市老人クラブ会員数・単位クラブ数(令和2年4月)

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	高齢・障害サービス係
	杉本 光明	吉田 健太郎	菅原 博美

[旭 区 高齢・障害支援 課]

予算区分	地域福祉保健推進費	性質・課題区分	障害児・者	事業開始年度	平成11年度
------	-----------	---------	-------	--------	--------

事業名
障害者ネットワーク推進事業

特記事項	
中期計画-38の政策	<input type="checkbox"/>
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	<input type="checkbox"/>
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
31	1

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	2,326	0	0			2,326
前年度	2,026	0	0			2,026
増△減	300	0	0	0	0	300

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予算	事業費	1,197	948	1,026	子	事業費	2,326	2,326
	メリット+一般財源	1,197	948	1,026	算	一般財源	2,326	2,326
決算	事業費	1,197	810	809	方針に関する決裁 種別() 有:件名()、日付(年月) (無)			
	メリット+一般財源	1,197	810	809				

事業の概要(目的)	障害に対する理解を深める普及啓発の取組として、セミナーを実施します。また、精神障害のある方が、地域で安心して暮らせるように、居場所づくりや関係機関との連携強化や人材を育成し、病院や入所施設等からの地域移行を推進します。
-----------	---

(説明)

1 地域の課題等	旭区は、精神障害者の数が6,405人と市内でも5番目に多く(令和2年3月末)、精神科病院の病床数も1,430床と市内の約27%を占めています。精神障害者及びその家族が地域で安心して暮らし続けるためには、関係機関の連携した支援や、障害に対する理解促進に取り組む必要があります。また、障害に関する相談や生活支援を行う施設の整備状況は地域ごとに偏りがあることから、地域ケアプラザを活用した身近な場所での相談、生活支援等への対応も充実させる必要があります。			
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	6 区民要望	7 関係団体からの要望	
2 運営方針等との関係	令和2年度旭区運営方針 II 目標達成に向けた施策 安心・健やかな暮らしの推進			
3 根拠法令・要綱等	障害者総合支援法、精神保健福祉法、旭区ふれあいスポーツ事業補助金交付要綱			

【実績の推移・今後見込み】

	28年度実績	29年度実績	30年度実績	元年度実績	2年度見込み
旭区ふれあいスポーツ大会(参加者)	353人	311人	308人	162人	0人
精神保健福祉セミナー(来場者)	337人	336人	353人	0人	200人

【実施内容】

- 関係機関連携強化・社会参加支援事業
 - 旭区障がいサポートガイド
区内の障害者施設を紹介するガイドブックを増刷します。(1,000部)
 - 旭区ふれあいスポーツ大会
精神障害者の交流を深めるとともに、社会参加支援を目的にスポーツ大会を開催します。
(ふれあいスポーツ協議会への補助)
種目：ポッチャ(6月)、卓球(11月)
 - 精神科嘱託医派遣
精神科に関する相談の多い地区の地域ケアプラザ等に精神科嘱託医が出向き、精神科領域に課題を抱える方への面接または個別訪問を行います。また支援者向けのサポートとして関係者による事例検討会に参加し、適切な助言を行います。(年6回)

2 普及啓発事業

(1) 旭区精神保健福祉セミナー【拡充】

精神障害の理解を深めるための普及啓発事業として、精神保健福祉をテーマに講演会及び体験発表等を実施します。※セミナーをネット上（Zoom等）で開催し、新型コロナウイルスの影響で来場が難しい方々も安全に参加できるようにします。また収録動画を市のYouTubeチャンネルで公開し、セミナーの内容を多くの方々に届けられるようにして普及啓発の効果を高めます。 開催時期：2月

(2) 地域精神保健福祉講座

精神障害者の地域移行を推進するため、地域の関係機関や支援者に対し、精神保健福祉の講座を開催します。（2か所）

(3) 障害者施設健康増進出前講座

栄養士、歯科衛生士、保健師が障害者施設へ出向き、施設職員や通所している障害者を対象に、口腔衛生、栄養についての講座を開き、健康増進のための講座を行う。（5か所）

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
1 関係機関連携強化・社会参加支援事業	815	1,435	△ 620	障がいサポートガイドデザイン費の減
2 普及啓発事業	1,511	591	920	講演会等収録委託の増
事業費合計	2,326	2,026	300	

【根拠とするデータ等】

身体障害者手帳、愛の手帳、精神障害者保健福祉手帳所持者数、精神障害者基礎把握数（2年3月）

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	障害者支援担当
	杉本 光明	三木 敢	三木 敢

[旭 区 こども家庭支援 課]

予算区分	地域福祉保健推進費	性質・課題区分	その他福祉・保健・衛生	事業開始年度	平成14年度
------	-----------	---------	-------------	--------	--------

事業名	DV対策事業
-----	--------

特記事項	○
中期計画-38の政策	
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
30	4

事業評価書番号	該当なし
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	927	0	0			927
前年度	852	0	0			852
増△減	75	0	0	0	0	75

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予算	事業費	916	916	892	子算	事業費	927	927
	メリット+一般財源	916	916	892		一般財源	927	927
決算	事業費	849	872	891	方針に関する決裁 種別()			
	メリット+一般財源	849	872	891	有:件名()、日付(年月)			
(無)								

事業の概要(目的)	DV被害女性の心理的ケアや自立支援を行うとともに、離婚や親権の問題など、法律的問題の解決のための専門相談等を行います。
-----------	---

(説明)

1 地域の課題等
 女性福祉相談で対応する相談は、パートナーからの身体・精神的な暴力に関する内容だけではなく、経済的不安や子どもへの影響など内容は複雑多岐に渡っています。被害女性は、心的外傷後ストレス障害を抱えていたり、離婚や親権などの法律的な問題を抱えていたりすることが多く、心理的ケアや法的知識など専門的知見からの支援を必要とします。また、児童虐待の問題を併せ持つことが多いため、関係機関と連携し、的確に支援する必要があります。

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	7 関係団体からの要望
-------------	------------	-------------

2 運営方針等との関係
 令和2年度旭区運営方針 II 目標達成に向けた施策 安心・健やかな暮らしの推進

3 根拠法令・要綱等
 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律(DV防止法)、児童虐待の防止等に関する法律、旭区児童虐待・DV防止連絡会設置要綱

【実績の推移・今後見込み】

相談数の推移

	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度(見込)	3年度(見込)
法律相談	12回24人	12回23人	12回23人	12回30人	12回36人	12回36人
個別カウンセリング	12回12人	12回16人	12回16人	12回21人	12回36人	12回36人

・関係機関連絡会の開催(年2回)

女性相談件数の推移

	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度(見込)	3年度(見込)
来所	341	280	315	341	300	300
電話	64	43	112	90	100	100

【実施内容】

・DV相談事業

女性弁護士によるDV法律相談を月1回(年12回)実施し、離婚や親権など法律的問題の解決を図ります。また、臨床心理士による個別カウンセリングを月1回(年12回)実施し、心理的ケアを行うことでDV被害女性の尊厳の回復や精神的自立に繋がります。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
DV相談事業	927	852	75	実績に基づくタクシー借上料の増
事業費合計	927	852	75	

【根拠とするデータ等】

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	こども家庭係
	松田 悟	横田 慈	山中 法子

予算区分	地域福祉保健推進費 地域福祉保健推進費	性質・ 課題区分	その他福祉・保健・衛生 動物愛護・適正飼育	事業開始年度	平成15年度
------	------------------------	-------------	--------------------------	--------	--------

事業名
安全で安心な食と生活環境支援事業

特記事項	
中期計画-38の政策	<input type="checkbox"/>
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	<input type="checkbox"/>
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
15	4
35	6

事業評価 書番号	該当なし
事業評価 書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	1,371	0	0			1,371
前年度	655	0	0			655
増△減	716	0	0	0	0	716

歳出		平成29年度	平成30年度	令和元年度	歳出		令和4年度	令和5年度
予算	事業費	615	615	615	子	事業費	1,371	1,371
	メリット+一般財源	615	615	615	算	一般財源	1,371	1,371
決算	事業費	603	601	615	方針に関する決裁 種別()			
	メリット+一般財源	603	601	615	有:件名()、日付(年月)			
(無)								

事業の概要 (目的)	平時及び災害時の区民の安全で安心な食と生活環境づくりを支援します。
---------------	-----------------------------------

(説明)

1 地域の課題等

①高齢者世帯等では、アシナガバチの巣の自主駆除が困難であるケースが多く刺傷事故につながる可能性があるため、ボランティアによる駆除支援を今後も続ける必要があります。

②新型コロナウイルスに対応する飲食店に対して、衛生管理状況等の監視支援を強化します。また、地域行事やボランティア給食等福祉活動の再開を見極め、従事する調理者に対して食中毒予防の観点から継続的に支援を行っていく必要があります。

③災害時のペット同行避難者の受入れ体制が整備されていない地域防災拠点があるため、一時飼育場所の選定や、訓練の実施に向けた支援を行っていく必要があります。

④飼い主のいない猫の相談が急増しています。地域猫活動の普及を図り、地域でこの問題に対応する体制を構築するため、ボランティアの協力を得ながらTNR活動の推進を図ります。

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	5 区民アンケート	6 区民要望
-------------	------------	-----------	--------

2 運営方針等との関係 令和2年度旭区運営方針 II 目標達成に向けた施策 安心・健やかな暮らしの推進

3 根拠法令・要綱等 食品衛生法、狂犬病予防法、動物の愛護及び管理に関する法律

【実績の推移・今後見込み】

各事業におけるハチ駆除、講習会実績	元年度	2年度見込み	3年度見込み
ハチ駆除サポート事業 (ハチ駆除件数)	23件	30件	30件
食の安全安心サポート事業 (講習会参加人数)	11回383人	4回130人	5回200人
災害時のペット対策等啓発事業 (同行避難訓練参加人数)	9拠点2541人	5拠点1000人	5拠点1000人

【実施内容】

- ハチ駆除サポート事業
駆除ボランティアの活動をサポートします。(講習・駆除器具の貸出・通年)
駆除ボランティアの協力のもと高齢者等のハチ駆除を支援します。
- 食の安全安心サポート事業
コロナ対応でガイドラインに沿った店舗運営へ対応している店舗の、衛生状況、換気状況等の確認を行います。
地域住民の行う、祭事やボランティア給食等については再開状況を見ながら、チラシ配布等、状況に応じた適切な支援を行います。
- 災害時のペット対策等啓発事業
啓発用DVDの活用、災害時ペット対策啓発物品の展示により、ペット同行避難訓練の支援を行います。
ペットのしつけ・マナー向上等についての啓発を行います。
- 飼い主のいない猫対策事業【新規】
飼い主のいない猫対策に取り組む地域の支援を行います。区からボランティアを派遣し、不妊去勢手術の推進を図るほか地域で猫の世話をできるように支援していきます。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
ハチ駆除サポート事業	134	205	△ 71	購入資機材の変更による減
食の安全・安心サポート事業	351	320	31	検査件数増
災害時ペット対策等啓発事業	60	130	△ 70	消耗品見直しによる減
飼い主のいない猫対策事業	826	0	826	新規事業
事業費合計	1,371	655	716	

【根拠とするデータ等】

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	食品衛生 係
	古厩 忠良	伊澤 三彩	加藤 元規

(旭 区 - 34)